

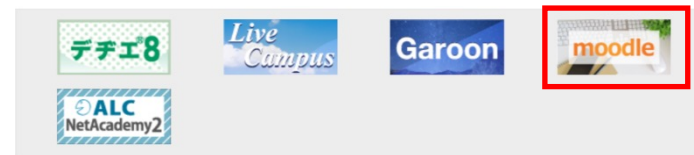
学修自己評価システムによる 新しい授業アンケートとその活用

1. 教学システムの連携による成績・達成度可視化機能
2. 学修自己評価システムによる授業アンケート

九州工業大学
学習教育センター長 坂本 寛

1. 教学システムの連携による 成績・達成度可視化機能

学習教育センターが提供する教学関連システム





国立大学法人
九州工業大学

学習教育支援ポータル

ユーザ番号: 82564651 [ログアウト](#)

学修自己評価システム

学修自己評価システムは、学生の履修した科目の達成度を自己評価するとともに、学生生活を客観的に記録することで学修意識と自己管理能力を高め、将来像を明確化することを目標としています。

シラバスシステム

※ 学外からのアクセスが可能です

シラバスシステムでは、シラバスの作成および内容の編集を行うことができます。

コースポートフォリオ

担当する学部授業科目について学生の成績分布や理解の到達状況を見ることができます。

大学院研究開発報告システム (情報工学府のみ)

大学院研究開発報告システムでは、大学院での研究・開発計画書と研究・開発報告書を入力管理することができます。

GCEポートフォリオ (海外派遣プログラム関連教員のみ)

GCE (Global Competency for Engineer) ポートフォリオでは、レポートの提出・確認ができるほか、ルーブリックによる達成度のチェックを行うことができます。

Copyright © 1999-2017 Kyushu Institute of Technology All Rights Reserved.

Kyutech Moodle on Iizuka (2019) 日本語 (ja) 教職員 坂本 寛

九州工業大学 学習支援サービス (Moodle) 飯塚

○教務情報 (LiveCampus) シラバス ○ISC オンラインガイド 九工大メールの読み書き (Office365) 統合 ID パスワード変更 ○図書館 ○情報基盤室 (飯塚、戸畑、全学) ○事務よりお知らせ「学生向け」(学内) ○Web オープンキャンパス (九工大 動画) ○障害・保守などの情報 ○その他 予定表 (Office365)

九工大メールシステム利用登録(再設定)

注意: 大学院に進学した方へ (2019.4.4)

コースが見つからない時は?

自動生成コースへの教員設定について (2019/4/5)

3月末に教務情報からコースを作成、担当教員の割り当てを行ってありますが、一部教員ユーザへの、コース登録が行われていないものがあります。 ログイン後、ダッシュボードに担当科目名のコースが見つからない方は、お手数ですが以下のアドレスまで、ユーザ情報と科目名 (曜日と時間) を御連絡ください。こちらで教員権限を設定します。

ict-x@itc.kyutech.ac.jp

サイトアナウンスメント

このフォーラムを購読する



学習教育センターからのお知らせ
2018年 02月 18日 (日曜日) 10:05 - 管理者 大西 の投稿

2018年度より、スマートフォンに対応した新しいデザインのMoodle3.4を提供します。本サイトは、学習支援サービス2018としてそのままご利用になります。試用期間中は「コースの作成、学生のログイン」はできません。但し、共有コースにて、教師機能 (画面デザインや操作) はご利用になります。

- <https://itc-el.kyutech.ac.jp/course/view.php?id=2> (飯塚用) をクリックして登録すると教師になれます。
- <https://itc-el.kyutech.ac.jp/course/view.php?id=2> (戸畑若松用) をクリックして登録すると教師になれ...

残りのトピックを読む (44 題)

パーマリンク
このディスカッションを表示する (現在の返信数: 1)

過去のトピック ...

コースを検索する Go

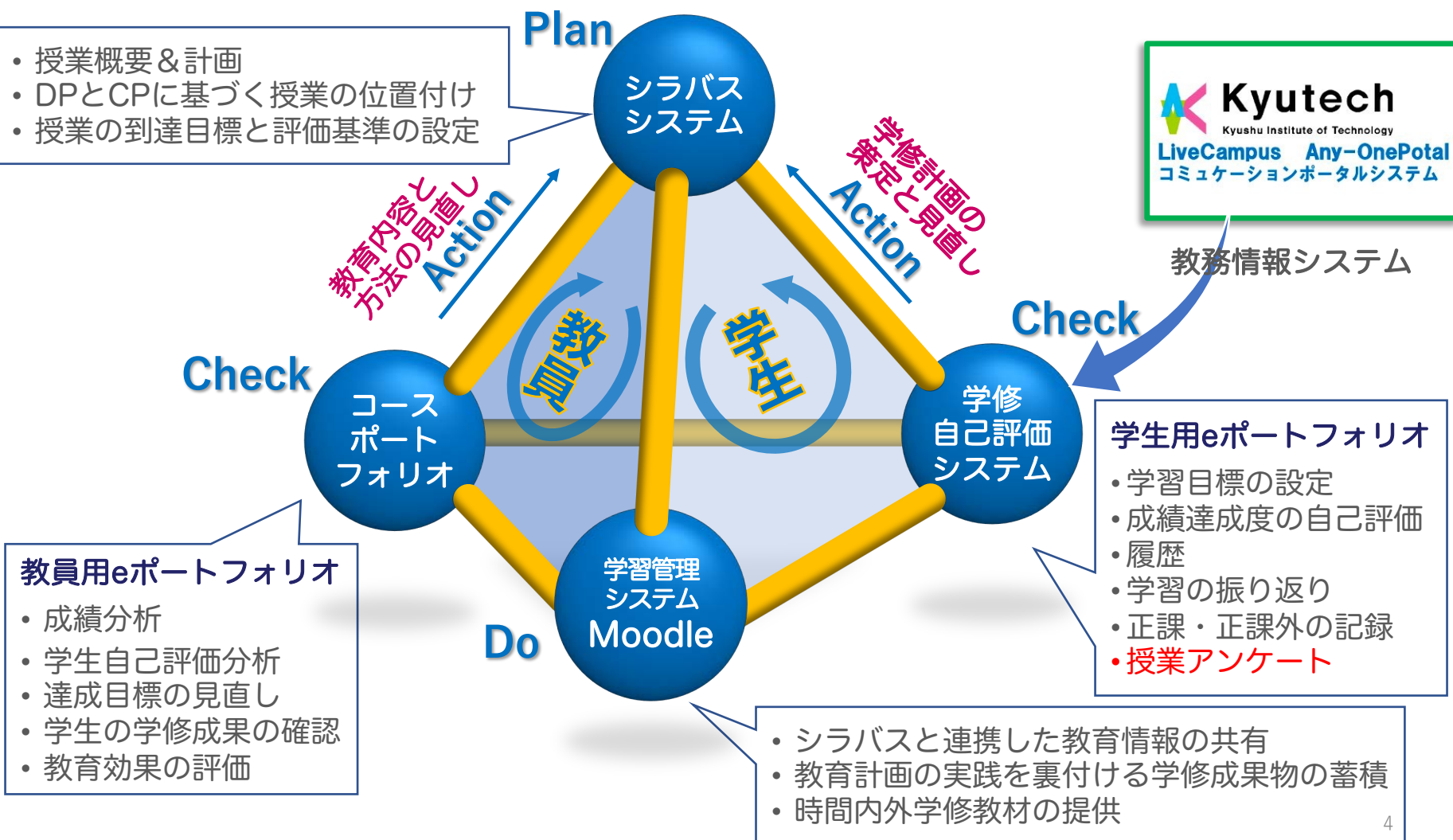
コースカテゴリ

▼ すべてを折りたたむ

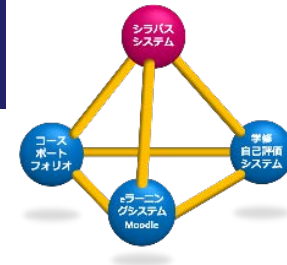
- ▼ 情報工学部 (15)
 - ▶ 共通 (複数クラス) (10)
 - ▶ クラス
 - ▶ IIクラス

教学関連システムの相関図

- ポートフォリオを活用した情報共有と可視化による内部質保証
- 教員と学生の相互認識・相互理解に基づいた教育改善の取り組み



Plan：シラバスシステム（Part 1）



年度末に次年度シラバスを入力 （随時修正・公開可）

- ❖ 授業の概要
- ❖ カリキュラムにおけるこの授業の位置付け
- ❖ 授業項目
- ❖ 授業の進め方
- ❖ 授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）

ケミカルバイオロジー (Chemical Biology)

科目コード	11250102
担当教員	坂本 寛、大西 源雅
対象学年	2年
曜日・時間	水曜 2限、木曜 3限
開講学期	第2クォーター
講義室	(情)1301講義室、(情)1301講義室
クラス	01
更新日	2020/07/01 (水)

学部・学科	単位区分	単位数
情報工学部 生命化学情報工学科 分子生命工学コース	必	2.0
情報工学部 生命化学情報工学科 医用生命工学コース	必	2.0

授業の概要

ケミカルバイオロジーとは、生命の基礎を分子レベルで理解したいという欲求から生まれた新しい学問領域であり、いわば化学を基礎とした生物学（生命化学）である。講義では化学の基礎知識を習得するため、タンパク質、脂質、糖質、核酸の構造と機能について解説する。さらに、有機化学および分子生物学的手法によって創出された機能性分子を用いた生命現象を捉えるための方法論について解説する。

カリキュラムにおけるこの授業の位置付け

本科目は化学および有機化学を基礎として、生化学、分子生物学、分子遺伝学につながる基礎知識と最新の方法論について学ぶ。

授業項目

- 1 細胞の構造と生体構成物質：規則性（左と右、モノマーとポリマー）、水的重要性
- 2 糖 質（1） 単糖類と二糖類の構造
- 3 糖 質（2） 多糖類の構造と機能（構造、貯蔵）
- 4 糖 質（3） オリゴ糖の構造と細胞認識

授業の進め方

主にMoodleによる非同期型の遠隔授業を行う。Moodle上に配置した資料（動画、音声付きスライド、プリント）を使いながら講義を進める。予習・復習のために小テストを行う。また、課題レポートの提出も求める。さらに、学習状況を把握するため、自筆ノートの提出を求める。

授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）

生命化学情報工学科の教育プログラムの学習教育到達目標(C-3)「生物学、化学、物理学に関して、基礎的な知識を習得し、生命科学分野およびその関連分野の専門的知識の習得に応用できる」（理系学力）を達成するため、生体を構成する基本物質について基礎的な知識を習得する。

1. アミノ酸、ペプチド、蛋白質の基本構造と機能を理解する
2. 中性脂肪、リン脂質、糖脂質の基本構造と生体膜の機能を理解する
3. 単糖、多糖の基本構造と機能を理解する
4. ヌクレオチド、DNA、RNAの基本構造と機能を理解する
5. 生命現象を解明するための機能性分子を用いた方法論について理解する

成績評価の基準および評価方法

自筆ノートおよび小テスト、課題レポート、期末試験の結果を総合して評価する。

授業外学習（予習・復習）の指示

事前に配布プリントをMoodle上に掲示するので、各自予習しておくこと。
予習のためにMoodle上に小テストを出題するので、授業開始までに解答しておくこと（予習は30分以上）。
復習のためにMoodle上に課題を出題するので、次回までに解答しておくこと（復習は60分以上）。
準備学習として、週に4時間確保すること。

キーワード

糖質、タンパク質、アミノ酸、脂質、核酸、ヌクレオチド

教科書

ライフサイエンスのための化学 安藤祥司・熊本栄一・坂本寛・弟子丸正伸 共著 化学同人

参考書

授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）

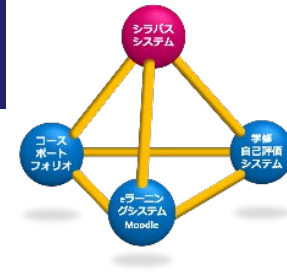
生命化学情報工学科の教育プログラムの学習教育到達目標(C-3)「生物学、化学、物理学に関して、基礎的な知識を習得し、生命科学分野およびその関連分野の専門的知識の習得に応用できる」（理系学力）を達成するため、生体を構成する基本物質について基礎的な知識を習得する。

1. アミノ酸、ペプチド、蛋白質の基本構造と機能を理解する
2. 中性脂肪、リン脂質、糖脂質の基本構造と生体膜の機能を理解する
3. 単糖、多糖の基本構造と機能を理解する
4. ヌクレオチド、DNA、RNAの基本構造と機能を理解する
5. 生命現象を解明するための機能性分子を用いた方法論について理解する

達成目標は学生用eポートフォリオシステムとデータ連携しており、
学生はeポートフォリオを使って学習の達成状況を自己評価する。

- ❖ 成績評価の基準および評価方法
- ❖ 授業外学習（予習復習の指示）
- ❖ キーワード、教科書、参考書
- ❖ 担当教員メールアドレス

Plan：シラバスシステム（Part 2）



13 核 酸 (1) 塩基、ヌクレオチド、ヌクレオチドの構造 授業の内容(日本語で記入して下さい) 削除

14 核 酸 (2) DNA、RNAの高度構造と機能 授業の内容(日本語で記入して下さい) 削除

15 核 酸 (3) DNA、RNAの合成と修飾およびその応用（プロンプ、アプター） 授業の内容(日本語で記入して下さい) 削除

+ 追加

授業の進め方

主にMoodleによる非同期型の遠隔授業を行う。Moodle上に配置した資料（動画、音声付きスライド、プリント）を使いながら講義を進める。予習・復習のために小テストを行う。また、課題レポートの提出も求める。さらに、学習状況を把握するため、自筆ノートの提出を求める。

授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）

1. 達成目標に対するまえがき（任意項目）

生命科学情報工学科の教育プログラムの学習教育到達目標(C-3)「生物学、化学、物理学に関して、基礎的な知識を習得し、生命科学分野およびその関連分野の専門的知識の習得に活用できる」（理系学力）を達成するため、生体を構成する基本物質について基礎的な知識を習得する。

2. 達成目標（必須項目）

重み	ループリック
(1) アミノ酸、ペプチド、蛋白質の基本構造と機能を理解する	100 ループリック 削除
(2) 中性脂肪、リン脂質、糖脂質の基本構造と生体膜の機能を理解する	100 ループリック 削除
(3) 単糖、多糖の基本構造と機能を理解する	100 ループリック 削除
(4) ヌクレオチド、DNA、RNAの基本構造と機能を理解する	100 ループリック 削除
(5) 生命現象を解明するための機能性分子を用いた方法論について理解する。	100 ループリック 削除
(6) 例：aaについて理解している	100 ループリック 削除
(7) 例：aaについて理解している	100 ループリック 削除
(8) 例：aaについて理解している	100 ループリック 削除
(9) 例：aaについて理解している	100 ループリック 削除

+ 追加

成績評価の基準および評価方法

自筆ノートおよび小テスト、課題レポート、期末試験の結果を総合して評価する。

授業外学習（予習・復習）の指示

事前に配布プリントをMoodle上に掲示するので、各自予習しておくこと。
予習のためMoodle上に小テストを出題するので、授業開始までに解答しておくこと（予習は30分以上）。
復習のためにMoodle上に課題を出題するので、次回までに解答しておくこと（復習は60分以上）。
準備学修として、週に4時間確保すること。

シラバス編集モード画面

授業のループリックの編集

シラバスに表示しない

■ 授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）

1 アミノ酸、ペプチド、蛋白質の基本構造と機能を理解する

■ ループリック

標準の5段階評価に戻す ?

レベル1 全く達成できなかった

レベル2 あまり達成できなかった

レベル3 どちらともいえない

レベル4 ある程度達成できた

レベル5 十分達成できた

追加

削除

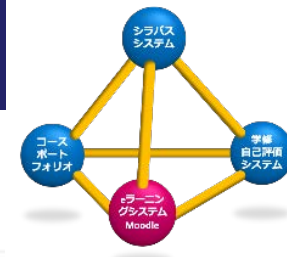
それぞれの達成目標のレベルは教員が独自に設定可能

登録

戻る

Do : Moodle (Part 1)

- ❖ 年度末に次年度のすべての開講科目のコースを自動作成
- ❖ 自動作成されたコースの利活用方法は授業担当教員が判断



化学I(2020):IVクラス:Q03:水曜日4時限金曜日5時限(1)

ダッシュボード / マイコース / 化学I(2020):IVクラス

あなたの

📢 アナウンスメント

遠隔授業を受講する上での注意点

Moodle, Zoom の利用に VPN は不要です。VPNを使用している場合は、速かに使用を止めてください。

遠隔授業を受講する上で、次の行為は禁止されています(<https://www.kyutech.ac.jp/information/entry-7466.html>)。

1. 配布されたZoomによる授業のURL、ミーティングIDやパスワードをその授業の受講者以外に教えること。
2. 遠隔授業の様子を出席者の許可なく写真にとり、それをSNSなどで共有すること。また、担当教員の許可なく、授業の内容を録音・録画し、それを公開すること。
3. 遠隔授業で配布された資料等を、担当教員の許可なく再配布すること。
4. 授業の妨害となる画像、動画、音声を送ること。
5. その他、遠隔授業の円滑な実施を妨害する行為。

📖 0化学Iシラバス2020

📌 シラバス&授業の説明 <授業を受ける前に必ず視聴して下さい！>

学習の進め方 (資料は授業前日までにアップロードしておきます)

1. まず教科書の指定された範囲を読む！
2. 予習テストに解答する (授業翌日まで) 出席代わりです。必ず受けて下さい
3. ビデオ教材を視聴しながら、**自分なりのオリジナルなノート**をつくる
4. 課題プリントに取り組み、期限内に提出する (通常一週間後)
課題番号の異なる課題が提出されていた場合は、0点と評定されるので、提出場所を間違えないようにして下さい！

注意事項

この授業では必ずノートを取って下さい。ノートは紙であっても電子メモであっても構いませんが、数回に分けてノートのPDFファイルを提出してもらいます。

教科書

「ライフサイエンスのための化学」 安藤祥司・熊本栄一・坂本寛・弟子丸正伸 (化学同人)

<https://www.kagakudojin.co.jp/book/b244261.html>

👤 Zoomによる質問コーナー

坂本はパソコンの前にはいますが、別作業をしているので、質問がある場合は、話しかけて下さい。

水曜日4限 (14:40~16:10)、金曜日5限 (16:20~17:50)

<https://kyutech-ac-jp.zoom.us/j/99821683028?pwd=ajNBU3BNblJYTnNaR4ZEJSRxc2dz09>

ミーティングID: 998 2168 3028

パスコード: 838513

1. 10月2日 (金) 5限: §1. 化学で用いる用語と概念

§1. 化学で用いる用語と概念

- 1.1. 原子と元素
- 1.2. 単位
- 1.3. 有効数字
- 1.4. 濃度と密度
- 1.5. 化学の歴史

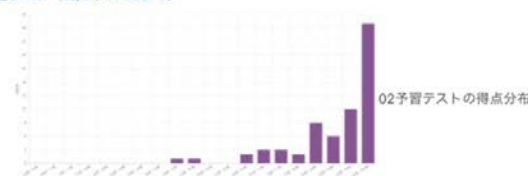
2. 10月7日 (水) 4限 §2. 原子の構造

教科書第2章「原子の構造」2.1 原子の構成~2.5 原子軌道のエネルギーと電子配置 (p.9~16)

§2. 原子の構造

- 2.1. 原子の構成
- 2.2. 原子量
- 2.3. アボガド数
- 2.4. 原子軌道
- 2.5. エネルギー単位と電子配置

📊 02予習テスト (10/8木24:00まで)



📺 02解説ビデオ「§2. 原子の構造」その1

📺 02解説ビデオ「§2. 原子の構造」その2

📄 02板書 §2. 原子の構造

📄 02課題20201007 (10/14水24:00まで)

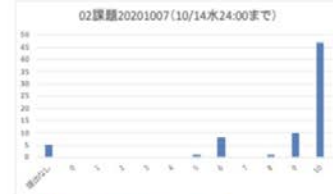
問1 例にならって、塩素 $^{35}_{17}\text{Cl}$ 、アルゴン $^{40}_{18}\text{Ar}$ の電子配置を記せ。

問2 上の電子配置を参考にして、塩素が陰イオンになりやすい理由を説明せよ。

添付のpdfを印刷して手書きするか、Wordファイルにタイプしてして解答を作成し、その解答用紙をPDFとして提出すること。白紙に学生番号、氏名、問題文を手書きして、解答しても構いません。

ファイル名: 02課題20201007.学生番号_氏名.pdf

手書きの用紙をPDFにする際は、スマートフォン・タブレットのアプリ (Adobe Acan, CamScanner, Office Lens等) を用いて撮影して、PDFとして保存する。複数ページにわたる際は、1つのPDFファイルとして提出して下さい。



📄 02化学I課題20201007解答

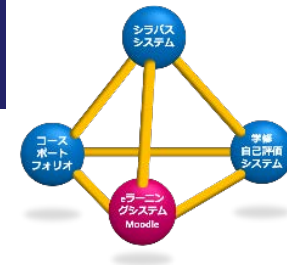
3. 10月9日 (金) 5限 §3. 周期律

教科書第2章「原子の構造」2.6 周期律と元素の性質 (p.16~20)

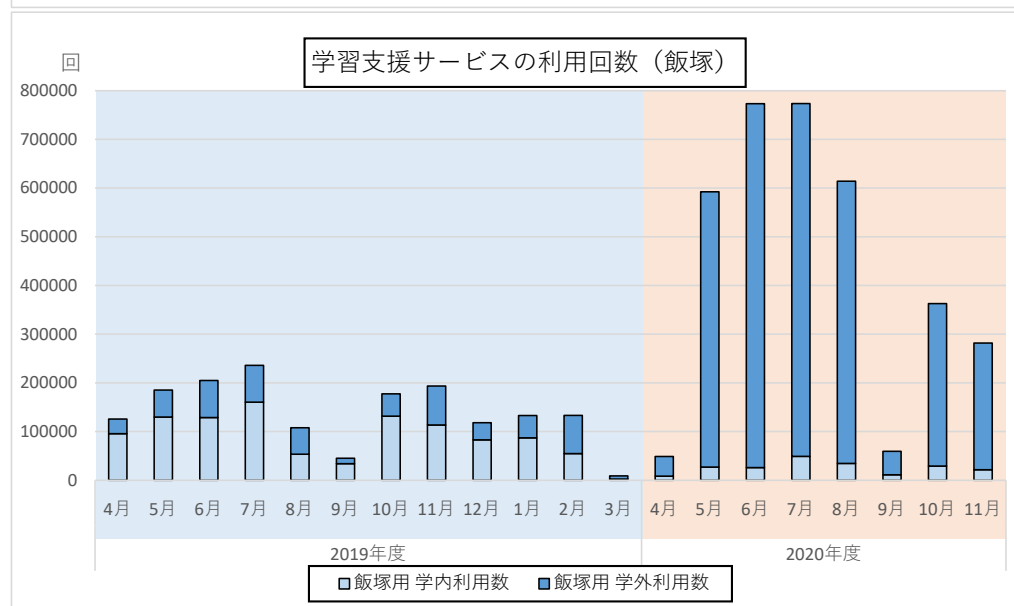
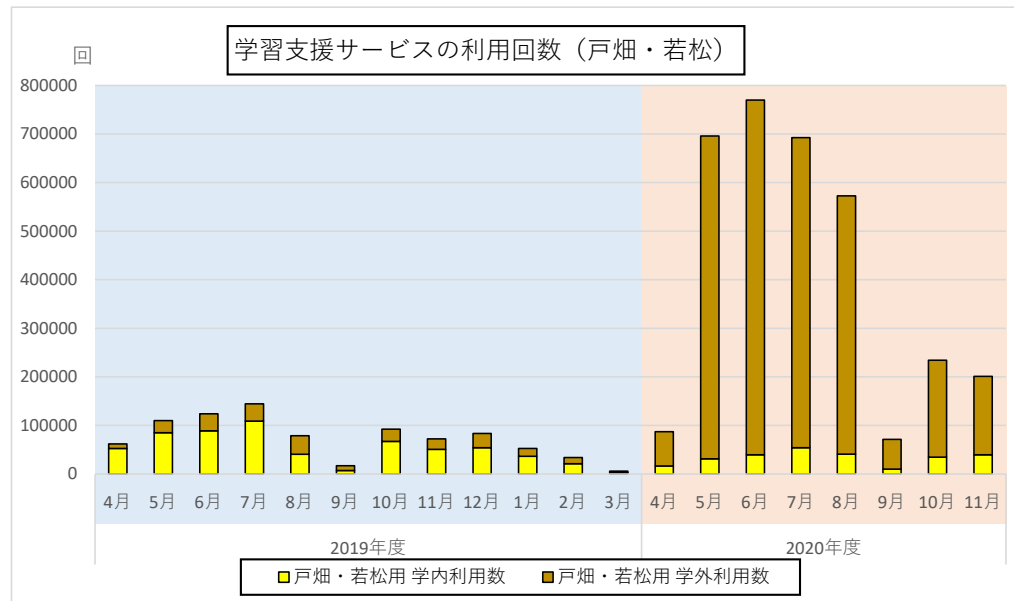
§3. 周期律

- 3.1. 周期表
- 3.2. 族
- 3.3. 周期
- 3.4. 原子、イオンの大きさ

Do : Moodle (Part 2)



1 学習支援サービスの利用状況



2 Moodle 講習会の実施

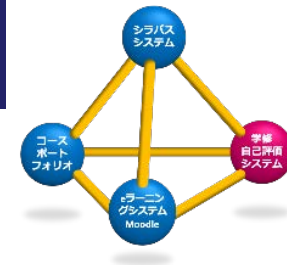
後期講義を行う教員向けに、オンライン講習会を実施。初心者向け講習会では、主に Moodle へのアクセス、ログイン、コースの公開方法、資料のアップロードに加えて、Zoom の基本的な操作を解説。中級者向け公開講座では、Moodle での課題・小テストの利用方法について解説。

2020 年度 Moodle 講習会の実施状況

	日時	内容	形式	参加者人数
1	4 月 16 日 10:30～11:50	初心者向け講習会	Zoom	およそ 110 名程度
2	4 月 16 日 14:40～16:00	初心者向け講習会	Zoom	およそ 60 名程度
3	4 月 21 日 13:00～14:20	中級者向け講習会	Zoom	110 名
4	4 月 28 日 10:30～12:00	中級者向け講習会	Zoom	67 名
5	4 月 28 日 13:00～14:30	VPL 講習会	Zoom	44 名
6	4 月 30 日 10:30～12:00	初心者向け講習会	Zoom	47 名
7	6 月 4 日 16:20～17:50	初心者向け講習会	Zoom	19 名
8	6 月 11 日 16:20～17:50	初心者向け講習会	Zoom	10 名
9	7 月 31 日 16:20～17:50	初心者向け講習会	Zoom	16 名
10	8 月 4 日 16:20～17:50	中級者向け講習会	Zoom	12 名
11	9 月 25 日 16:20～17:50	初心者向け講習会	Zoom	16 名
12	11 月 24 日 14:40～16:10	初心者向け講習会	Zoom	16 名
13	11 月 27 日 14:40～16:10	中級者向け講習会	Zoom	8 名
14	11 月 30 日 16:20～17:50	初心者向け講習会	Zoom	5 名
15	12 月 3 日 16:20～17:50	中級者向け講習会	Zoom	21 名

Moodleに関するお問い合わせ先：
 学習教育センターICT支援部門
ict-x@lrc.kyutech.ac.jp

Check：学修自己評価システム（学生用1）



- ❖ 目標設定と達成状況を記録する。
- ❖ 入学してから現在までの単位修得や成績の履歴を確認する。

[ホーム](#)
[1.履修状況の確認](#)
[2.達成度の確認](#)
[3.学修意識の診断](#)
[4.目標と振り返り](#)
[5.TOEIC](#)
[学生へのコメント](#)

「学修」とは、単に知識を蓄積するだけでなく、知識・技能をいかに身につけ、いかに生かすか、より主体的に学ぶことを意味しています。

この学修自己評価システムでは、履修した科目の達成度を自己評価するとともに、大学生活を客観的に記録することで、学修意識と自己管理能力を高め、将来像を明確化することを目標としています。

学期ごとに入力して、大学生活を通して自身が成長していく過程を記録していきましょう。

今学期の目標

「4.目標と振り返り」へ

今学期の目標

例：必修科目の1/3の成績が優以上となるように復習に力を入れる
TOEICスコアを50点UPさせる
卒研テーマは11月までに実証実験を完了させる

達成状況

半期ごとの目標設定と達成状況の自己評価を記録

4年目前期

試験機を動作させる

9文字 2019/06/27 05:00:09

指導教員からのコメント

林 朗弘
試験機の動作ももう少しできそうですね。本番は試験機が動いてからになるので、まずは早く試験機を動かせるようにしましょう。

2019/07/25 17:34:48

よく記入していますし、成績も向上しています。振り返りをもう少し詳しく書くようにしてください。

2018/04/13 12:17:23

指導教員名: 伊藤 高廣、林 朗弘

面談日: ---

GPA・TOEIC・出欠状況

通算：再履修した科目がある場合に最後に履修した成績のみを対象として計算
通計：不可成績を含めたすべての履修科目を対象として計算

	1年目		2年目		3年目		4年目		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
成績平均	81	83	83	84	84	84	84		
修得単位数	18	37	58	79	100	117	117		
学期GPA	2.69	3.26	3.05	3.5	3.26	3.21			
学年GPA	2.99		3.27		3.24				
通算GPA	3.17								
通計GPA	3.17								
TOEIC L&R									
出席率(学期)	92.5	80.9	83.2	80.4	79.3	88.2	0		
出席率(通算)	83.8								
出席	812	欠席	152	遅刻	12	早退	0	無効	0

半期ごとの単位修得状況と成績平均, GPA, TOEICスコア, 出席率等, 学修状況の履歴

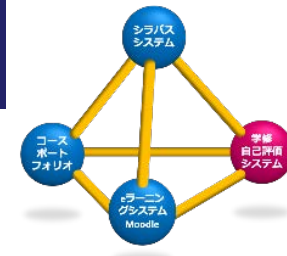
履修科目や合否科目, 科目ごとの成績などの履修情報

履修情報

成績区分: 年次: 4 学期:

科目名	出席/欠席	年次	学期	担当教員	履修区分	成績	成績区分	単位数	曜日/時限
日本語コミュニケーション	0 / 0	4	前期	鈴木 恵友	必修	--	履修中	1	火/5限
技術者倫理M	0 / 3	4	前期	鈴木 恵友	必修	--	履修中	1	月/5限

Check：学修自己評価システム（学生用2）



- ❖ 学習・教育到達目標とカリキュラムマップを確認する。
- ❖ 履修した授業科目の成績と自己評価結果を確認する。

ホーム 1.履修状況の確認 2.達成度の確認 3.学修意識の診断 4.目標と振り返り 5.TOEIC 学生へのコメント

学習・教育到達目標ごとの履修状況を確認して、各授業科目ごとに設定された達成目標を自己評価します。
 ※) 該当する授業項目をダブルクリックで選択してください。授業科目の達成目標を自己評価する画面が現れます。

正課授業の自己評価 教職履修課程の自己評価 GCE の自己評価

1 前 ▷ 1 後 ▷ 2 前 ▷ 2 後 ▷ 3 前 ▷ 3 後 ▷ 4 年目前期 ▷ 4 後

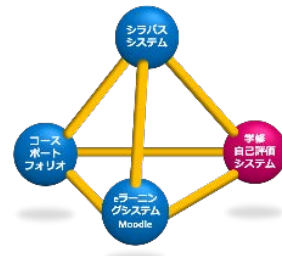
評価状況: ☒ 評価済 ☒ 未評価 ☒ 未履修

1 年		2 年		3 年		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期
(A) 情報工学と機械工学の双方の基礎と応用を習得する。						
(A-1) 自然科学の基礎-機械情報工学で必要となる数学、および機械情報工学の基礎となる物理・化学について理解し、機械情報工学へと応用						
(A-1-1) 数学の基礎						
(A-1-1-1) 1変数および2変数の微分・積分を理解し、計算に活用できるとともに、対象分野科目の理論の理解に使用できる 解析Ⅰ・同演習 【必修】 78点 50% 解析Ⅱ・同演習 【必修】 76点 75% 微分方程式 【必修】 82点 75%						
(A-1-1-2) 行列に関する演算および線形空間・線形写像の概念を理解し、計算に活用できるとともに、対象分野科目の理論の理解に使用できる 線形代数Ⅰ・同演習 【必修】 86点 75% 線形代数Ⅱ・同演習 【必修】 76点 60%						
(A-1-1-3) 確率に関する概念・知識を理解し、統計的なデータ処理への応用に関する知識を理解し、対象分野科目の理論の理解に使用できる 離散数学 【必修】 83点 60% 論理数学M 【必修選択】 100点 75%						
(A-1-2) 物理および化学の基礎						
(A-1-2-1) 質点・質点系の力学、剛体・連続体の力学、波動、電気回路、電磁気学について理解し、現象を式に書いてモデル化して、解くことができる。対象分野科目の理論の理解に使用できる 基礎物理学・同演習 【必修】 74点 50% 力学 【必修】 77点 50% 電磁気学 【必修】 60点 75% 電気回路M 【必修】 100点 91%						
(A-1-2-2) 量子力学 統計力学 化学反応の基礎知識を理解し、対象分野科目の理論の理解に使用できる						

授業科目名の部分をダブルクリックすると、授業科目ごとに設定された達成目標を自己評価する

点は成績，%は自己評価

Check：学修自己評価システム（学生用3）



- ❖ 授業科目ごとに設定された達成目標を自己評価
- ❖ 学習時間に要した時間や、達成目標の達成度合いを自分で認識
- ❖ 自己評価の結果はコースポートフォリオ（教員用eポートフォリオ）で分析

この授業科目について授業時間を含めた1週間の学習時間を入力

学習成果を内省した結果を記録

シラバスで設定した授業の達成目標について達成度を自己評価

シラバスシステムとデータ連携

自己評価の入力

評価状況: ☒ 評価済 ☒ 未評価

評価状況	年次	授業科目名	講義	教員名	要件	点数	成績区分	単位	履修時期	達成度
未評価	2後	英語K3F	01	マツ刀...	必修選択	88	合格	1	2018年度 後期	
評価済	2後	中国語II	01	龍 一夫	選択	84	合格	1	2017年度 後期	75%
評価済	2後	運動科学III	07	満園 ...	必修	79	合格	1	2017年度 後期	75%
評価済	2後	計算機システムII	04	光来 ...	必修	92	合格	2	2017年度 後期	75%
評価済	2後	データベースM	01	田中 ...	必修選択	94	合格	2	2017年度 後期	75%
評価済	2後	電気回路M	01	高橋 ...	必修	100	合格	2	2017年度 後期	91%

電気回路M (2年後期 / 必修 / 100点)

1. 授業時間も含め1週間あたりのおおよその学習時間を入力して下さい。

学習時間：2.5時間

2. 自己評価した結果からこの授業の達成度について分析して下さい。(自由記述)
例: 予習・復習をしっかりとしたので、授業を概ね理解することができたが、再帰呼び出しの関数の理解が十分ではないと思う。

大変良い

3. 下記の達成目標のそれぞれについて達成度を自己採点して下さい。

No	評価項目	自己評価
1	直流回路および交流回路の基礎およびこれらの電気回路を理解できている	★★★★★ 5. 十分達成できた
2	初歩的な電磁気学の知識を習得できている	★★★★☆ 4. ある程度達成できた
3	回路方程式とその諸定理を理解できている	★★★★★ 5. 十分達成できた

授業アンケート

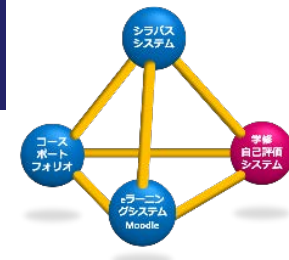
次のアンケートデータは大学の教育改善及び、各学部、学府、研究科の授業改善に使用します。

■ この授業について

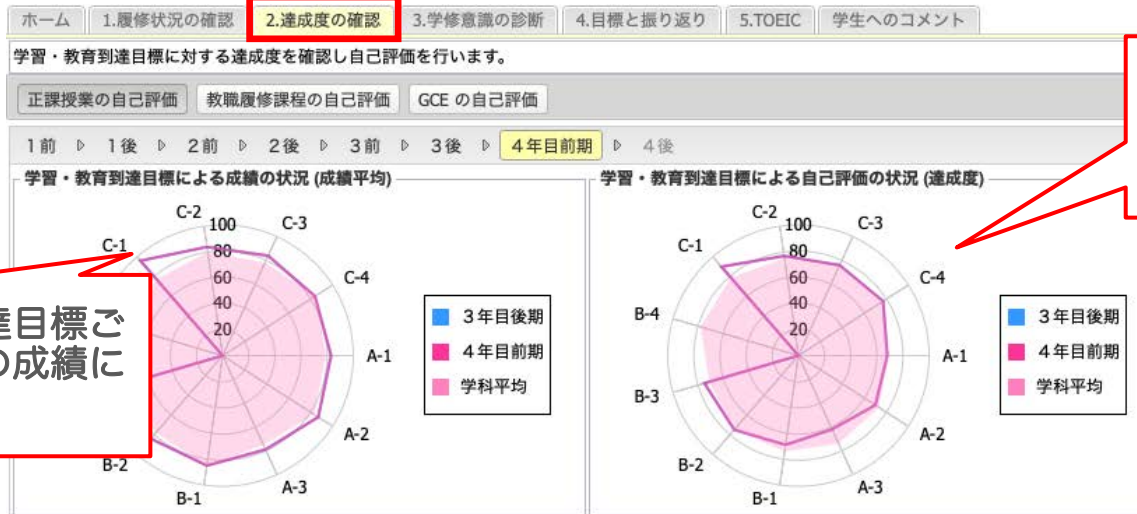
この授業について下記の質問に回答してください。

1	授業の進度は適切だった。	★★★★☆	4. そう思う
2	使用したテキストや資料等は、授業の理解の助けとなった。	★★★★☆	2. そう思わない

Check：学修自己評価システム（学生用4）



- ❖ 学科教育プログラムの学習・教育到達目標の達成度を自己評価
- ❖ 学習・教育到達目標とそれらの達成状況を確認



学習・教育到達目標ごとの授業科目の成績による達成度

学習・教育到達目標ごとの授業科目の自己評価による達成度

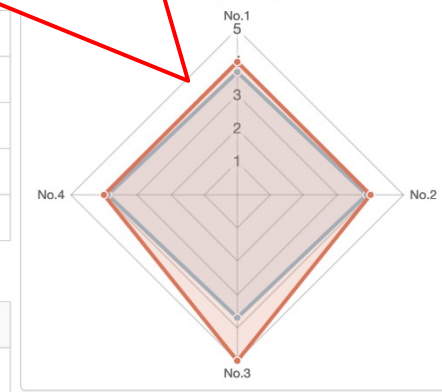
学習・教育到達目標の達成度		必修科目の達成度	選択科目を含む達成度
学習・教育到達目標			
(A) 情報工学と機械工学の双方の基礎と応用を習得する。		100%	54%
(A-1) 自然科学の基礎-機械情報工学で必要となる数学、および機械情報工学の基礎となる物理・化学について理解し、...		100%	60%
(A-2) 情報工学の基礎-計算機のハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションについて理解し、機械情報工学へと応...		100%	75%
(A-3) 機械工学の基礎-機械工学の基礎概念について広く理解し、機械情報工学へと応用できる能力		100%	39%
(B) 理解力、思考力、問題解決能力、理論的表現力を総合的に養う。		96%	28%
(B-1) デザイン・構想力-設計法を理解し、与えられた制約条件のもとで仕様・性能を満たす設計ができる能力		100%	62%
(B-2) 実験-実験の目的を認識しながら実験を計画・遂行し、実験において体験する諸現象を評価できる能力		100%	59%
(B-3) 実習-設計から製造に至るプロセスを体験し、そのプロセスで必要とするスキルや知識を適用できる能力		100%	33%
(B-4) 問題解決、総合力-機械情報工学分野の与えられた課題に対して、基礎知識と専門知識を応用する能力、および計...		0%	0%
(C) 種々の歴史、文化、習慣、価値観を背景とした技術の役割と倫理的責任を理解し、人類の幸福と国際協調に貢献で...		86%	12%
(C-1) 技術者倫理-技術者が社会や自然環境に対して果たす倫理的責任の自覚		50%	2%
(C-2) 国際社会と文化-社会、文化、習慣の歴史や価値観を理解し、国際協力できる能力		100%	13%
基礎		71%	12%
責任や責務の範囲でリーダーシッ...		94%	33%

修得科目の成績にもとづく必修科目による必須の達成度（赤），修得単位数が多く成績が高いと伸びる達成度（青）

- Kyutech CoursePortfolio

[自己評価の分析](#)
[自己評価の集計](#)
[自己評価と成績の相関分析](#)
[成績の分布](#)
[成績と出席率の相関分析](#)
[成績](#)

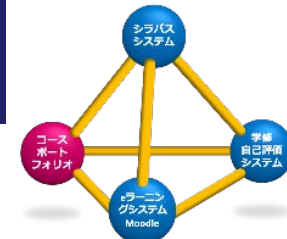
赤線は表示学生の達成度
青線は履修者平均



画面表示している学生に関する授業科目に設定された達成目標ごとの達成状況

自己評価した結果からこの授業の達成度について分析

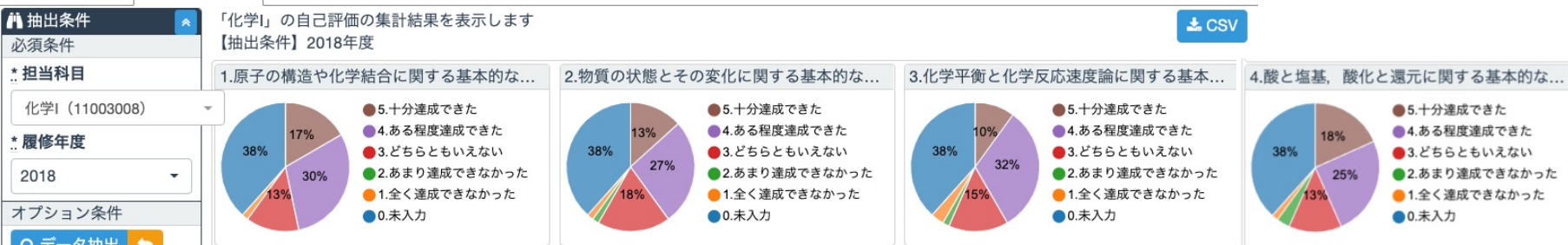
Check：コースポートフォリオ（教員用2）



❖ 達成目標ごとの自己評価を集計：授業の進め方の効果を確認する

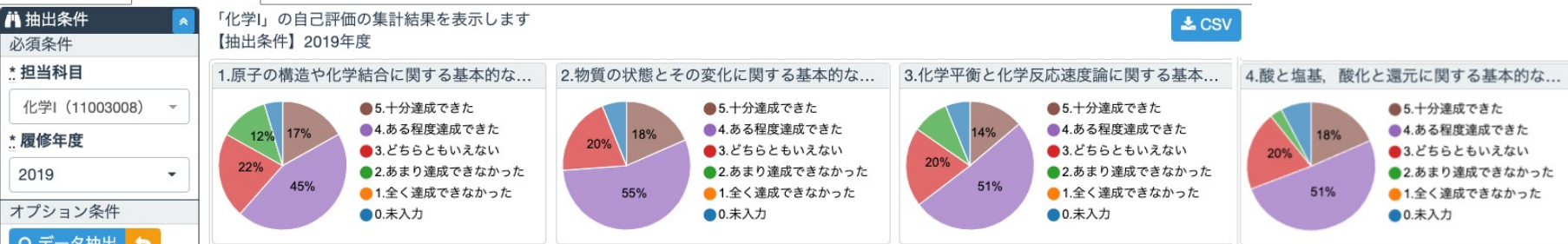
2018年度 化学Ⅰ（IVクラス）

自己評価の分析 自己評価の集計 自己評価と成績の相関分析 成績の分布 成績と出席率の相関分析 成績と学習時間の相関分析



2019年度 化学Ⅰ（IVクラス）

自己評価の分析 自己評価の集計 自己評価と成績の相関分析 成績の分布 成績と出席率の相関分析 成績と学習時間の相関分析

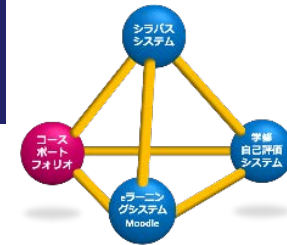


2020年度 化学Ⅰ（IVクラス）

自己評価の分析 自己評価の集計 自己評価と成績の相関分析 成績の分布 成績と出席率の相関分析 成績と学習時間の相関分析



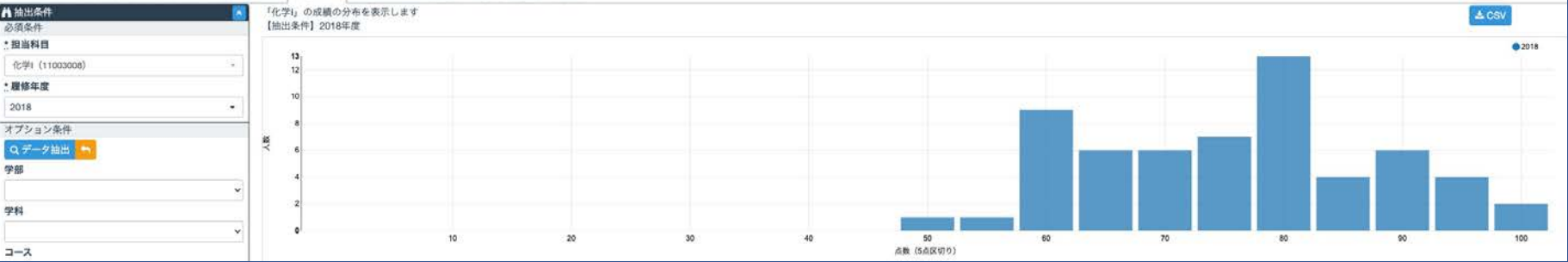
Check：コースポートフォリオ（教員用3）



❖ 成績の分布（複数年度分表示可）：成績評価の仕方と難易度などの適切さを確認する

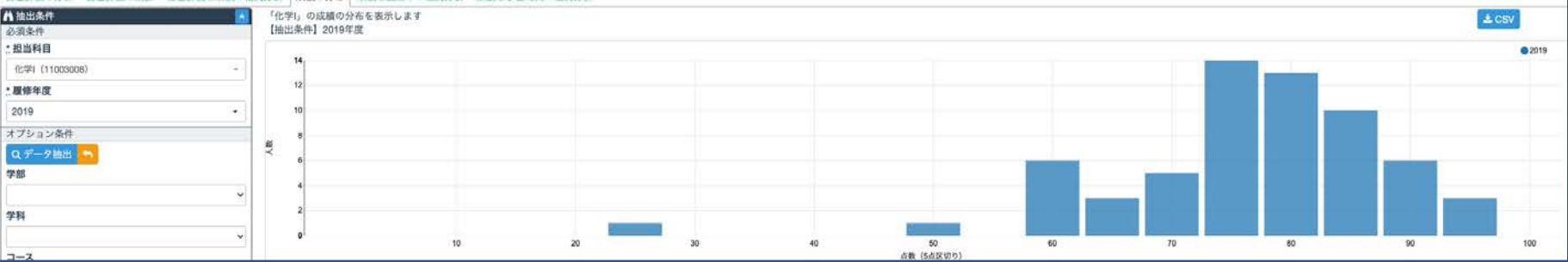
2018年度 化学Ⅰ（Ⅳクラス）

自己評価の分析 自己評価の集計 自己評価と成績の相関分析 成績の分布 成績と出席率の相関分析 成績と学習時間の相関分析



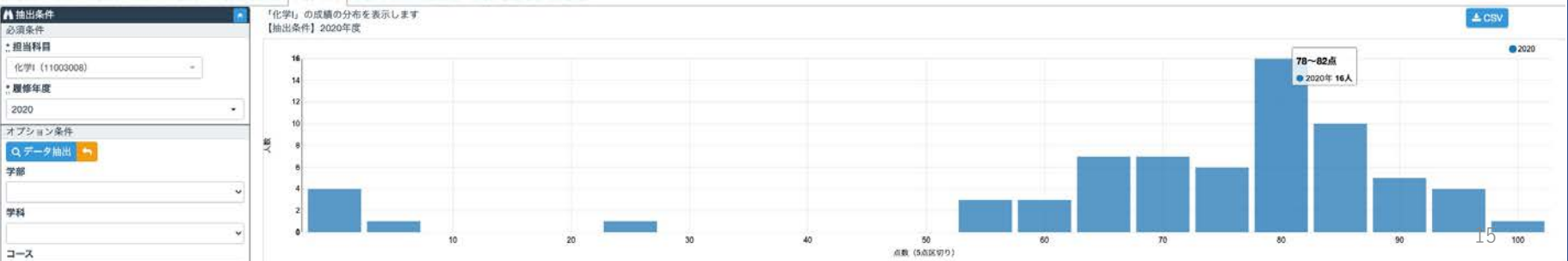
2019年度 化学Ⅰ（Ⅳクラス）

自己評価の分析 自己評価の集計 自己評価と成績の相関分析 成績の分布 成績と出席率の相関分析 成績と学習時間の相関分析

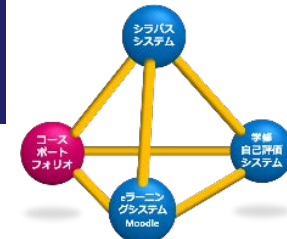


2020年度 化学Ⅰ（Ⅳクラス）

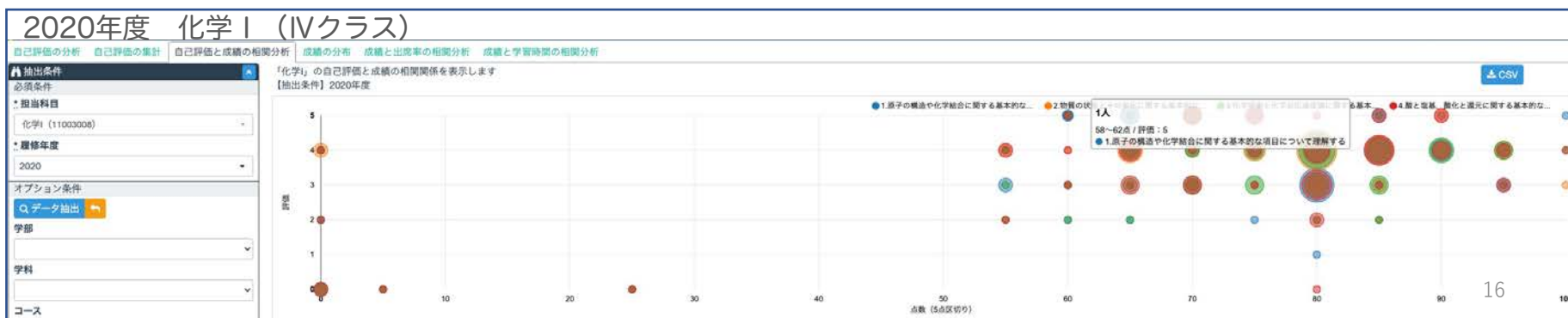
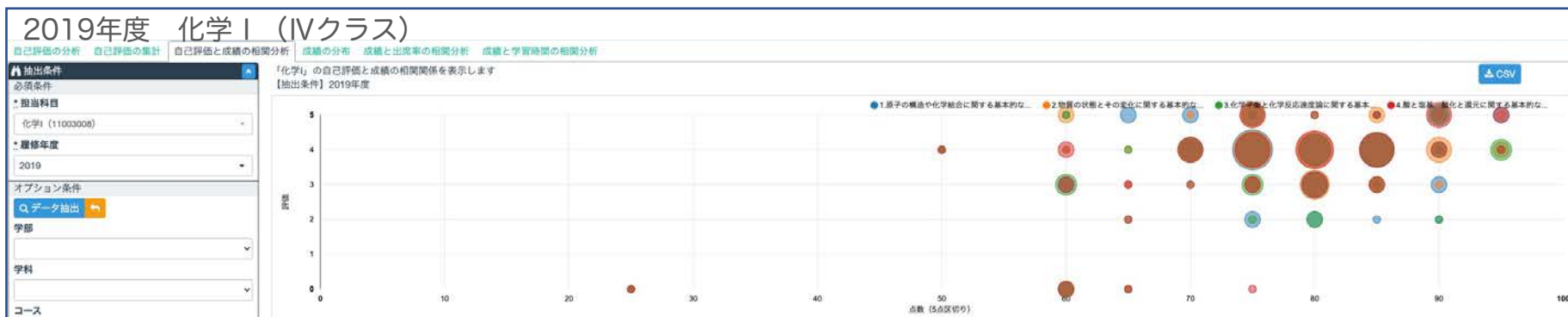
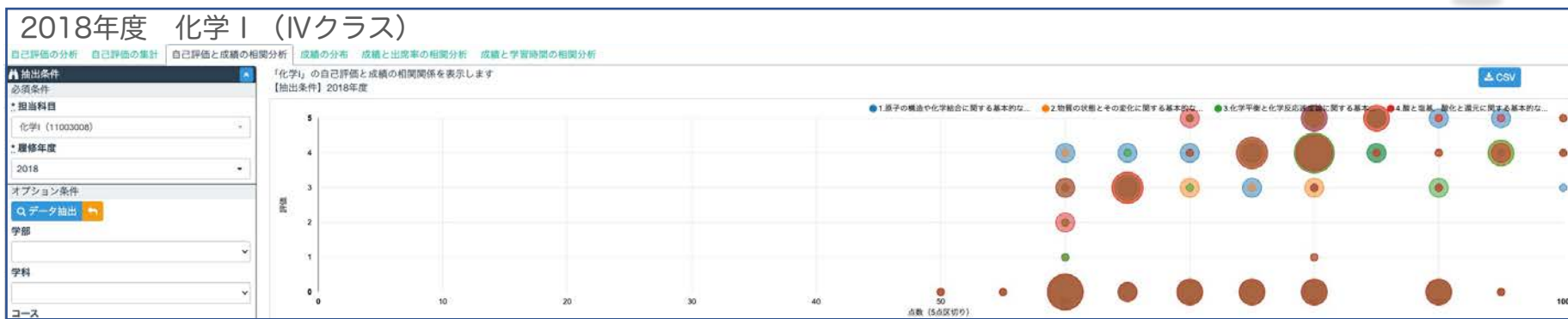
自己評価の分析 自己評価の集計 自己評価と成績の相関分析 成績の分布 成績と出席率の相関分析 成績と学習時間の相関分析



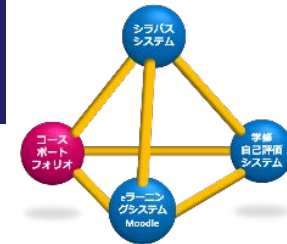
Check : コースポートフォリオ (教員用4)



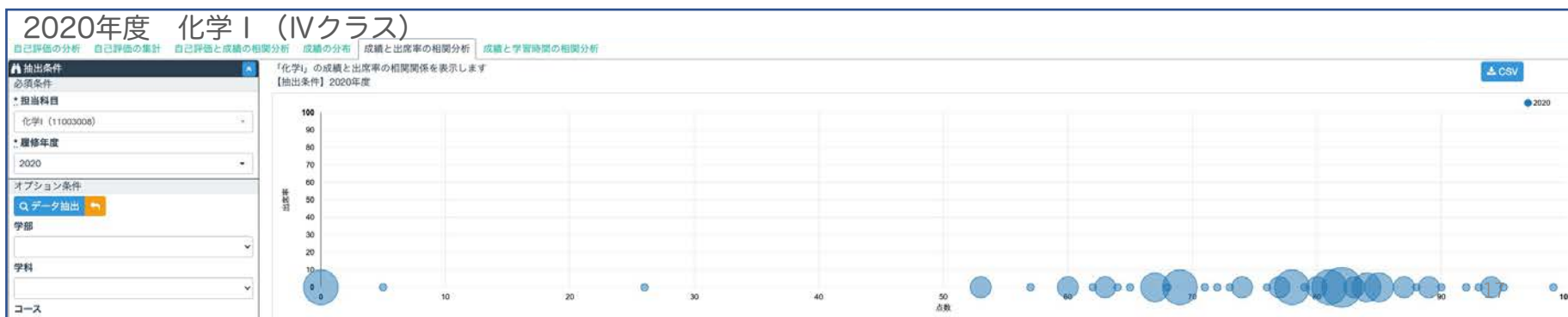
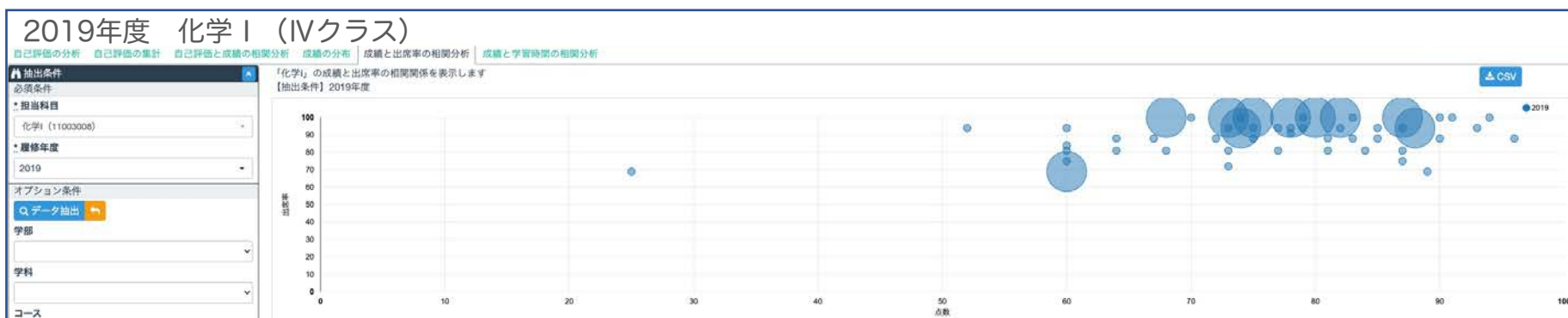
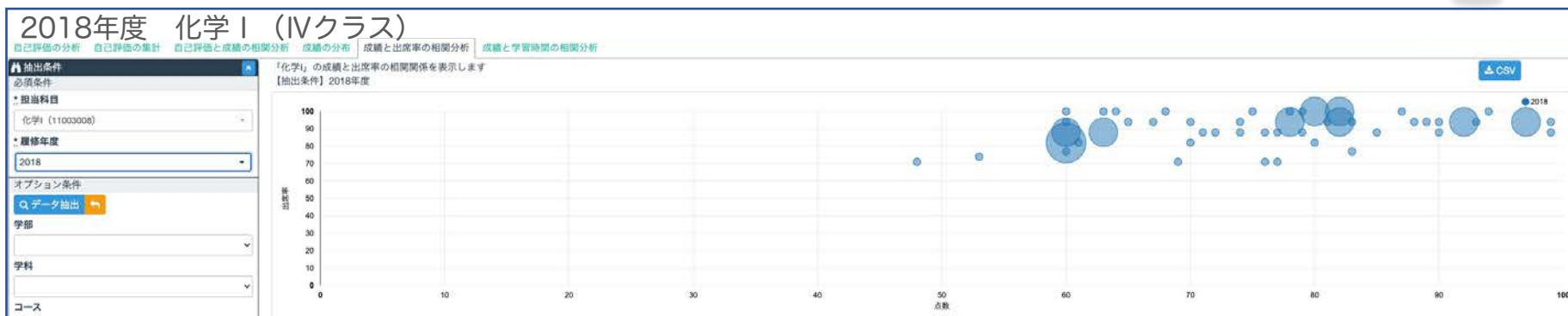
- ❖ 成績と自己評価 (項目平均) の相関 : 授業の進め方や評価方法の適切さを確認する



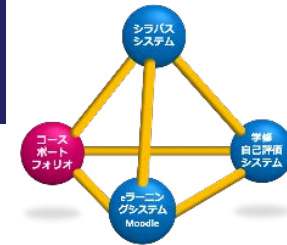
Check：コースポートフォリオ（教員用5）



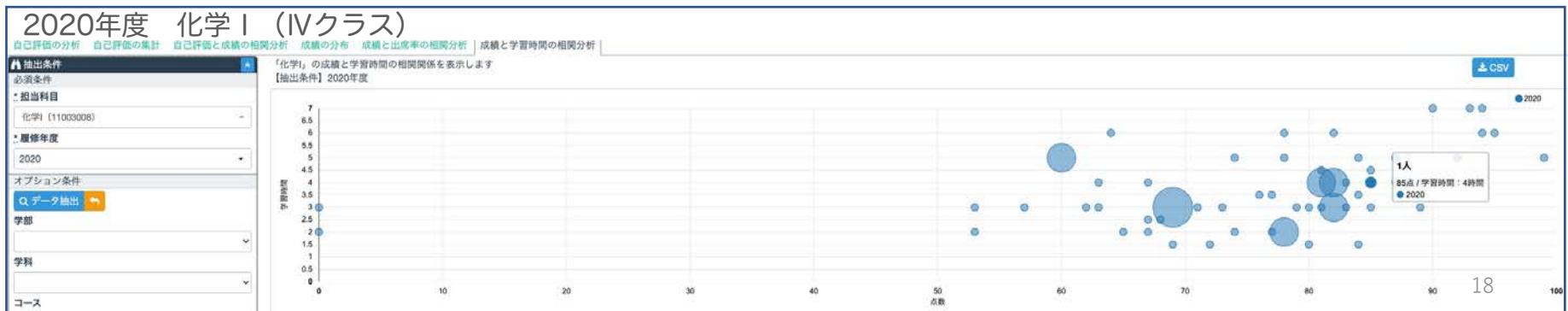
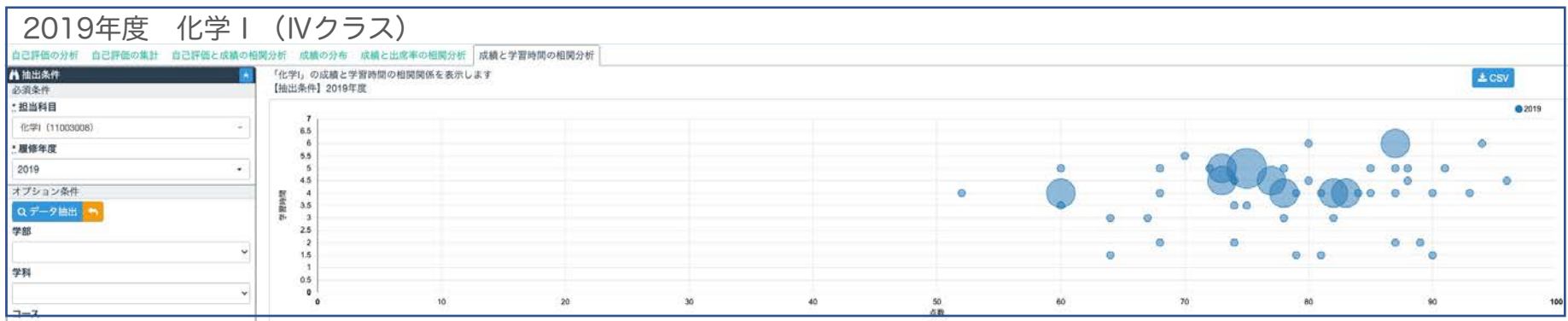
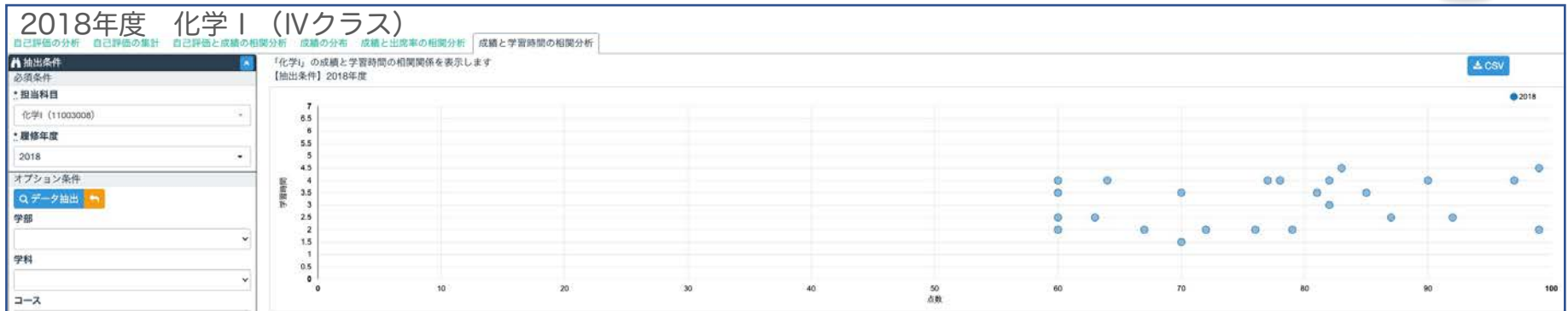
❖ 成績と出席率の相関



Check : コースポートフォリオ (教員 6)



❖ 成績と学習時間の相関：自宅学習の実践状況やその効果を確認する

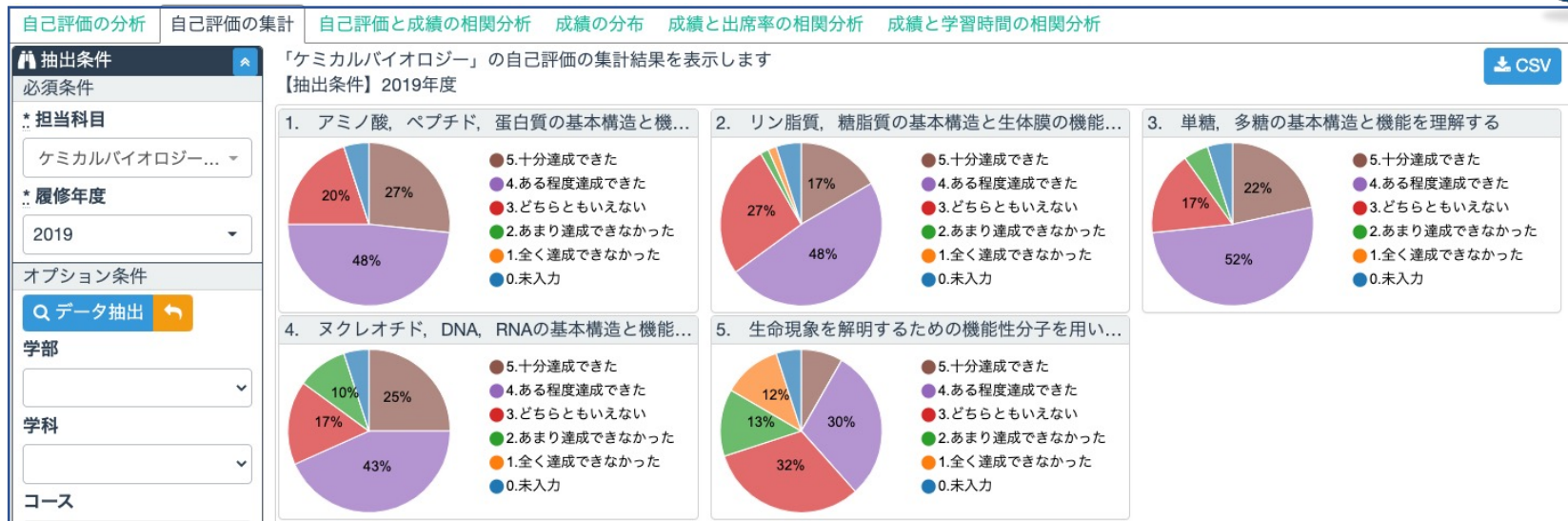


2020年度 化学Ⅰ（IVクラス）

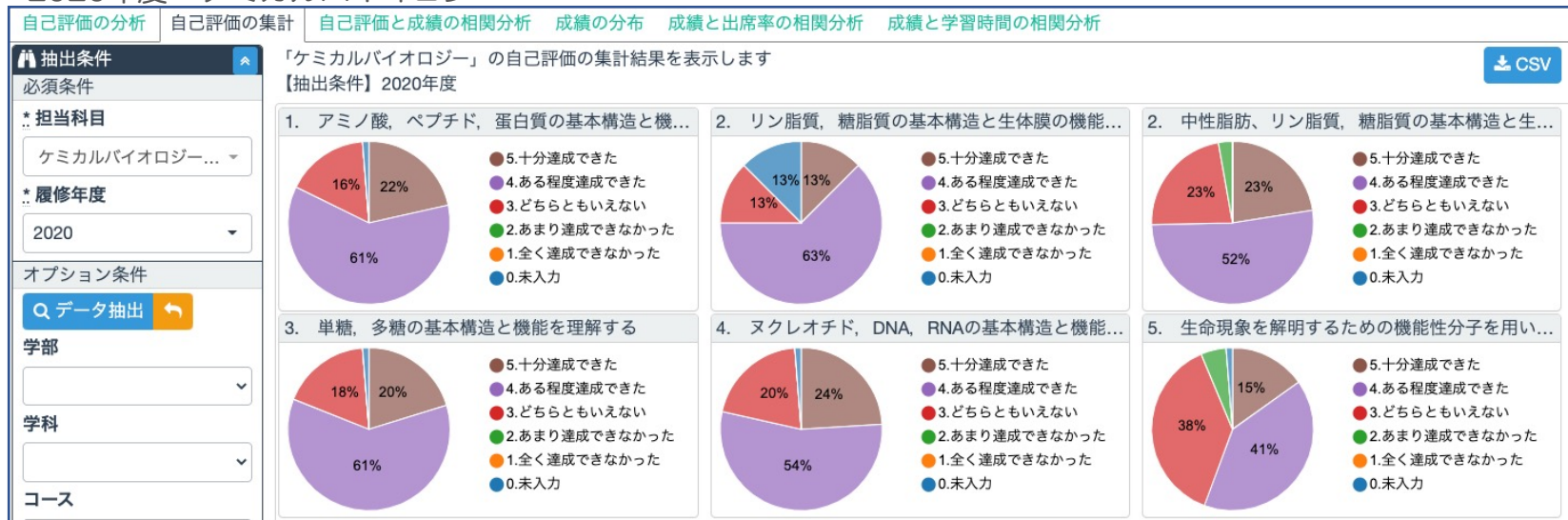
学生コメント（自己評価した結果からこの授業の自己評価について分析）	点数	学習時間	出席率(科目)	出席率(全体)
もっと頑張る		3	0	83.8
詳しい部分があり理解できていないと思う		3	0	88.6
予習の課題をしっかりとこなしていたので、ある程度は理解することはできた。		5	0	84.4
予習の際に、分かるまで考える事を習慣にしたので概ね軌道に乗っていたように思う。		3	0	0
予習課題はこなしていたが、そのほかに学習時間をあまりとらなかったで、知識の定着があまりできていない。		2.5	0	86.1
概ね問題なし			0	71.5
毎回の授業の課題をしっかりとこなすことで概ね理解することができた。		3	0	85.7
高校の延長みたいで楽しかった。		3	0	88.5
比較的簡単などころは十分理解できたと思うが原子の起動などある程度想像力が必要などころが少し心配ではある。		4	0	0
予習はあまりできなかったが、復習に充分時間は割けたのではないかと思う。		2	0	92.6
予習や復習をすることができなかった。		1.5	0	0
概ね理解できたが、化学速度論の理解が甘いと思う。		3	0	89.3
毎回の内容を理解しながら進めることが出来た。復習をする時間を確保した方が良かったと反省している。		3.5	0	0
勉強をしていたが、提出期限内に提出してないことがあった。		3	0	58.6
予習復習を教科書小テストを通して徹底し、授業自体は理解することができた。しかし、予習テストや課題にて問題を解くとなると行き詰るところが所々みられた。		3.5	0	92.6
ノートをとることで授業の流れを把握していたが、それでも不十分な時の対応があまりできていなかった。		7	0	86.7
授業と教科書を参考にしたノート作成に力を入れ、受講はそれを使って復習してから行うことで、理解を深めることができたと思う。これから発展的な学習をして、より感覚的な理解を身に着けたい。		7	0	0
予習はしっかりできたが復習にあまり時間を割くことができなかった。そのため授業の内容を忘れてしまうことが多かった。		6	0	40
原子構造において、高校までに習った原子構造モデルとだいぶ違い、理解するのに時間がかかった。特に混成軌道を図で書くのが難しく感じた。熱力学におけるエンタルピーは初めは聞き覚えのないものに焦ってしまっていたのがもったいなかったと思った。		5	0	0
予習を行い、課題で復習をするようにしていた。		5	0	0
化学を学習することは好きだが、勉強不足であったと考えられる。		1.5	0	85.7
理解できた部分とできていない部分はまだあり、理解が十分ではないと思う。		5	0	33.3
電子軌道の理解が足りていない		3	0	0
課題やノート提出などはしっかり取り組めたので良かったが、小テストの受け忘れなどの自分の不注意などは改めないとと思いました。		3	0	0
授業をおおむね理解することができたが、やはりいくつか難点が残る試験にも不安があるので、勉強しておきたい。		2	0	0
化学反応にかかわるエネルギーの式の意味があまり理解できなかった。		3	0	0
高校時代の化学の理解が不十分で、予習復習をしっかり行った割には全体的に十分には理解ができなかった		7	0	0

学生コメント（自己評価した結果からこの授業の自己評価について分析）	点数	学習時間	出席率(科目)	出席率(全体)
演習問題などをするとときに理解の甘さを感じた。		4	0	89.3
難しい内容であった。		2.5	0	92.3
予習をもっとしっかりしていれば、理解度が高まっていたと思います。特に、物質の状態とその変化に関する計算問題の理解が不十分だと思いました。		2	0	0
高校の内容と全く違うところもあったので、理解に苦しみました。教科書や参考書を活用して課題などを頑張りました。		6	0	89.3
苦手な分野と理解できた分野に分かれた。		4	0	0
分子構造の分野の理解がまだまだなので教科書を読みなおし、理解に努めたい。		3	0	86.7
講義動画では理解できたが時間がたって見返してみると忘れていたので復習をもっと充実させたい。		5	0	0
小テストをすべて満点にしたかった		1.5	0	92.9
復習をしたが、緩衝液の順に起こる変化の理解が十分でないと思う		3	0	88.5
高校の化学の応用といった感じだったので比較的理解しやすかった。		5	0	66.7
毎講義で練習問題を解くことができたため、理解を深めることができた。		6	0	0
だいたい理解できたが、結合が難しかった。		3	0	96.2
まだ習った内容が頭に入っておらず、問題を解くのに時間がかかってしまう。		3.5	0	0
すぐに理解できたところと、あまり理解出来ないところがありました。復習はある程度したけど、予習はほとんど出来なかったので他の教科のバランスを考えて、もっとうまく出来ればよかったなと思います。		4	0	86.2
予習に割く時間が少なかったと思う。高校の内容の延長のような感じだったのである程度の理解はできたと感じた。これから先、専門的な知識が必要になったときに授業に追いつけるように勉強法を模索するべきと考えた。		2	0	82.8
授業の課題が分からない問題を時間をかけて答えを出しているので良かったが、復習をもっとしっかりしないといけないと思った。		6	0	0
あまりちゃんと出来なかった。		3	0	40
授業のアーカイブや資料などが残っていたので復習がしやすかったため、概ね理解できたが、標準自由ギブズエネルギーの理解が十分ではないと思う。		3	0	0
復習をしっかりとしたと思う。平衡の理解が浅いと思う。		4	0	86.2
理解はできたものの問題を解く練習が足りなかったと思う。		5	0	0
予習でわからなかったところをわかるようにするために重点的に授業を聞いたので、軌道の構造をはっきりとイメージして問題を解くことができるようになった。化学熱力学と平衡の分野があまり得意ではないのでしっかり復習したい。		5	0	0
概ね理解していると思うが、テスト前には必ず復習をすべきだと思う。		1.5	0	0
後半は高校の内容と似ていたので理解がしやすかったが、前半の化学結合あたりが新しく、難しい内容で理解があまりできなかった		4	0	0
物理との繋がりが多いところは理解できたが、それ以外ではできなかった。		4	0	0
復習をしっかりと行っているので授業を十分に理解できた。		3	0	92.3
ノートをしっかりと取ることで、理解できるように心がけた		4	0	0
おおむね理解できた。		6	0	0

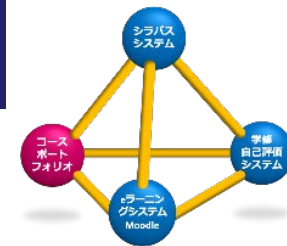
2019年度 ケミカルバイオロジー



2020年度 ケミカルバイオロジー

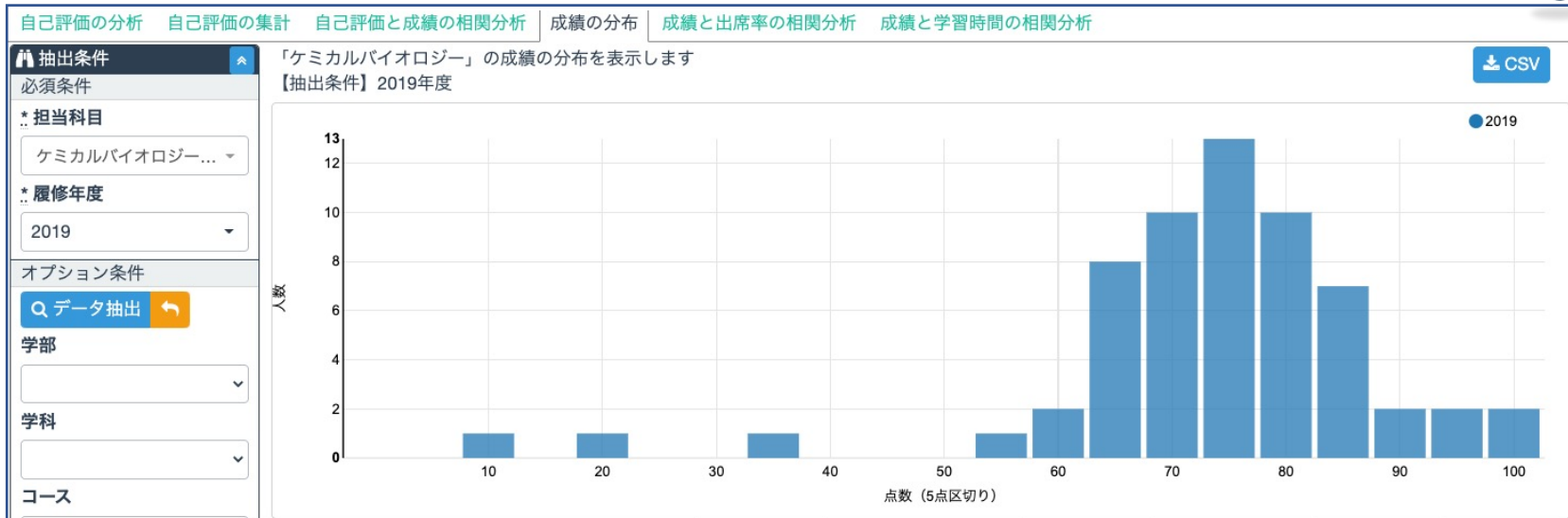


Check : コースポートフォリオ (教員用 8)

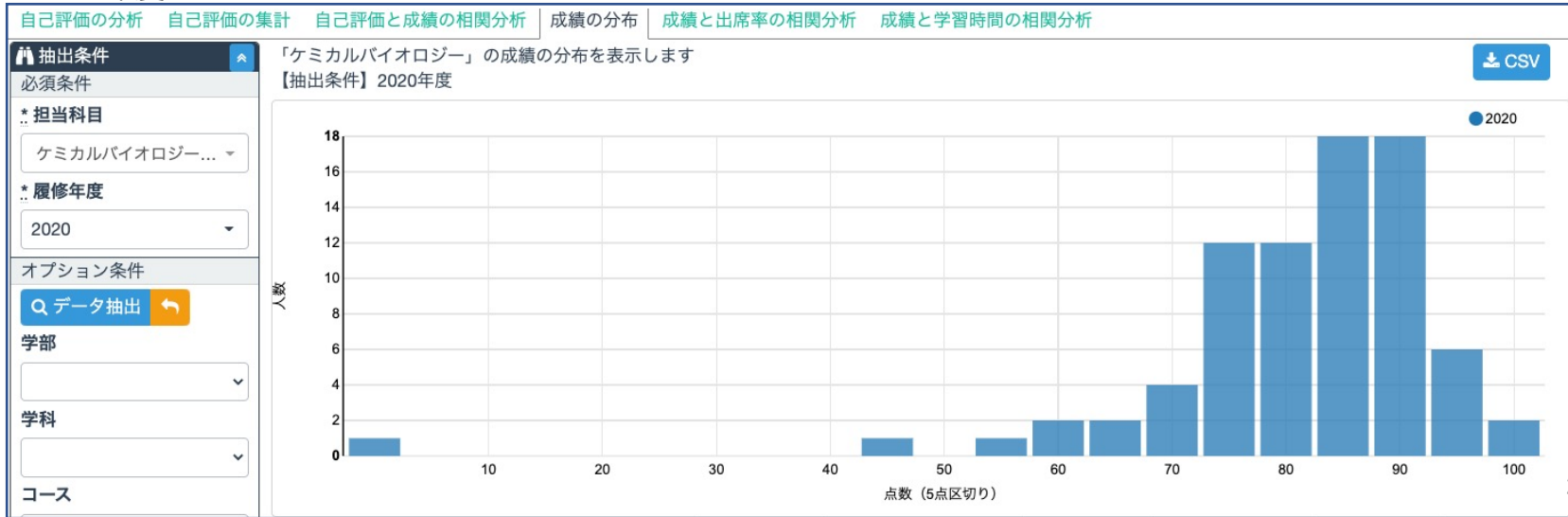


- ❖ 成績の分布 (複数年度分表示可) : 成績評価の仕方と難易度などの適切さを確認する

2019年度 ケミカルバイオロジー

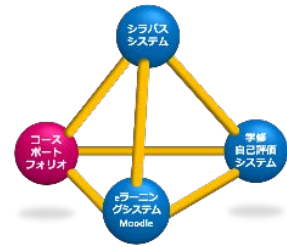


2020年度 ケミカルバイオロジー

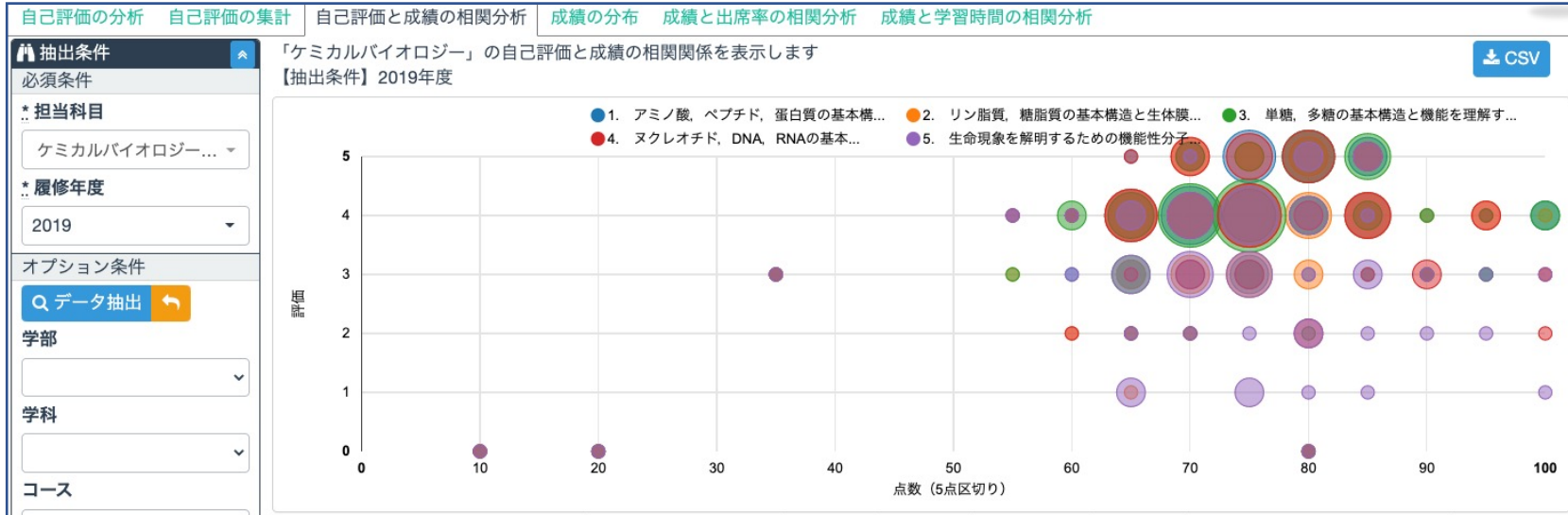


Check : コースポートフォリオ (教員用9)

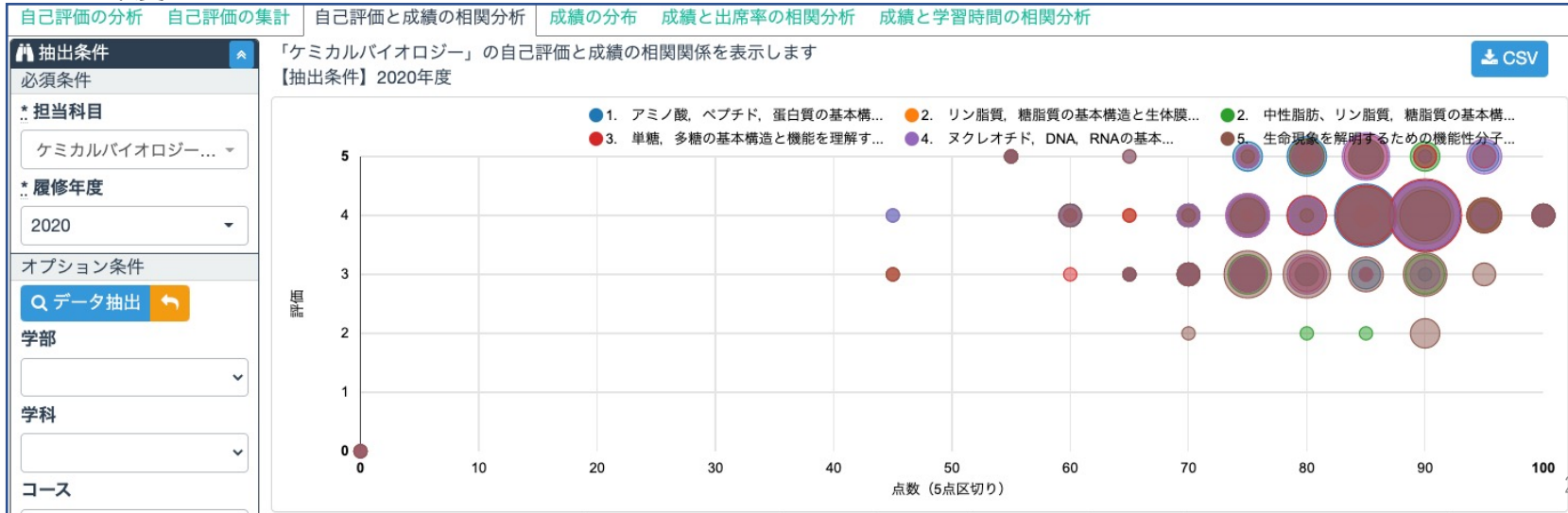
❖ 成績と自己評価 (項目平均) の相関 : 授業の進め方や評価方法の適切さを確認する



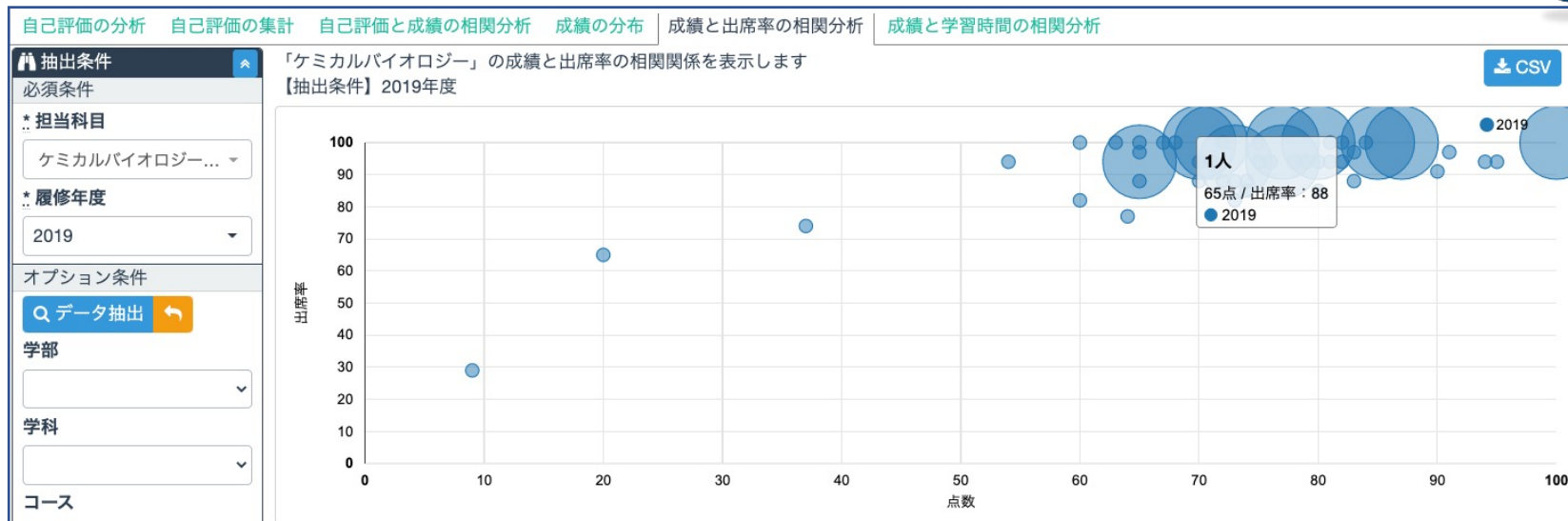
2019年度 ケミカルバイオロジー



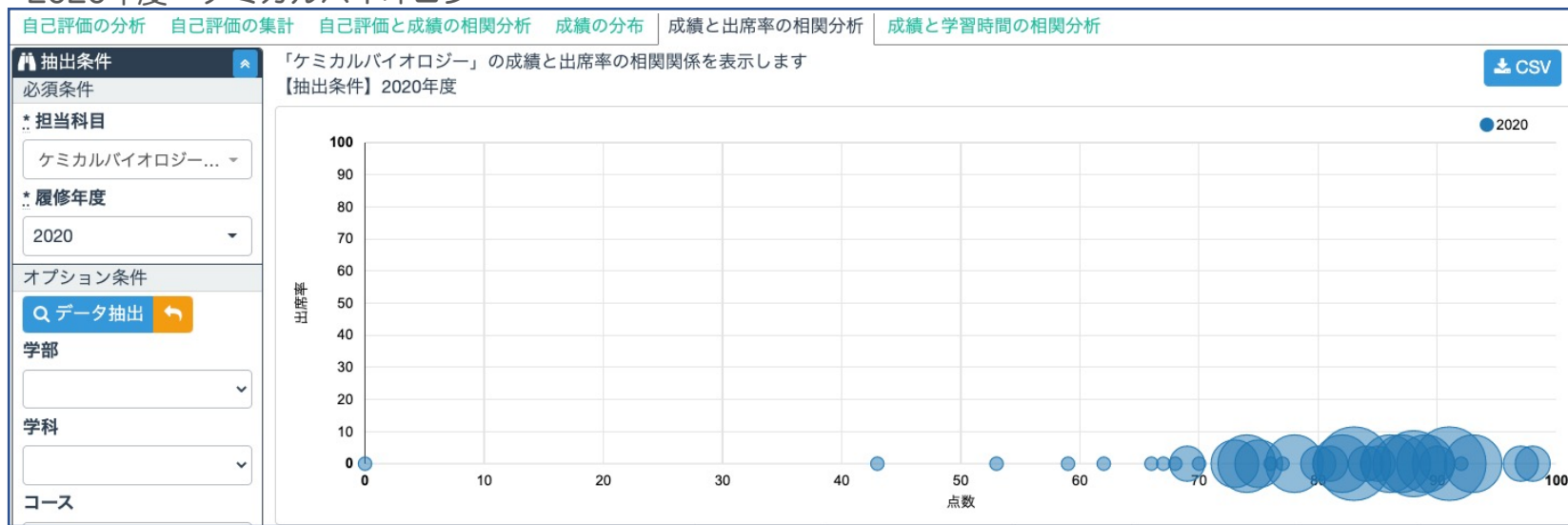
2020年度 ケミカルバイオロジー



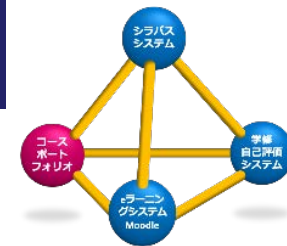
2019年度 ケミカルバイオロジー



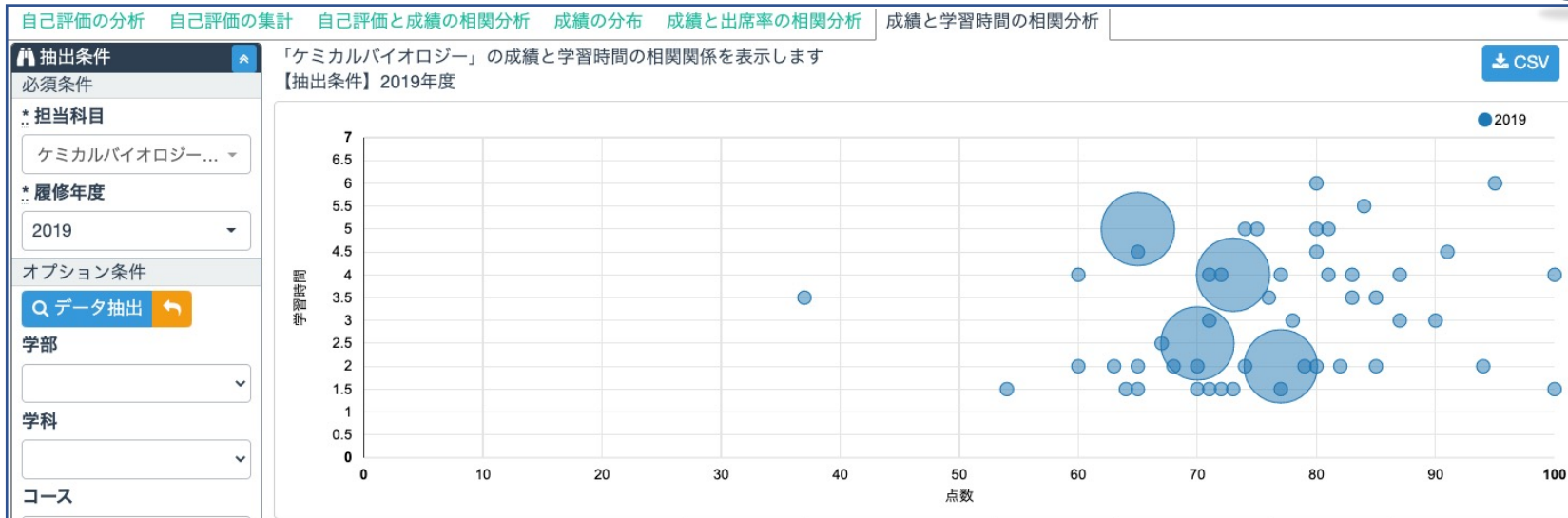
2020年度 ケミカルバイオロジー



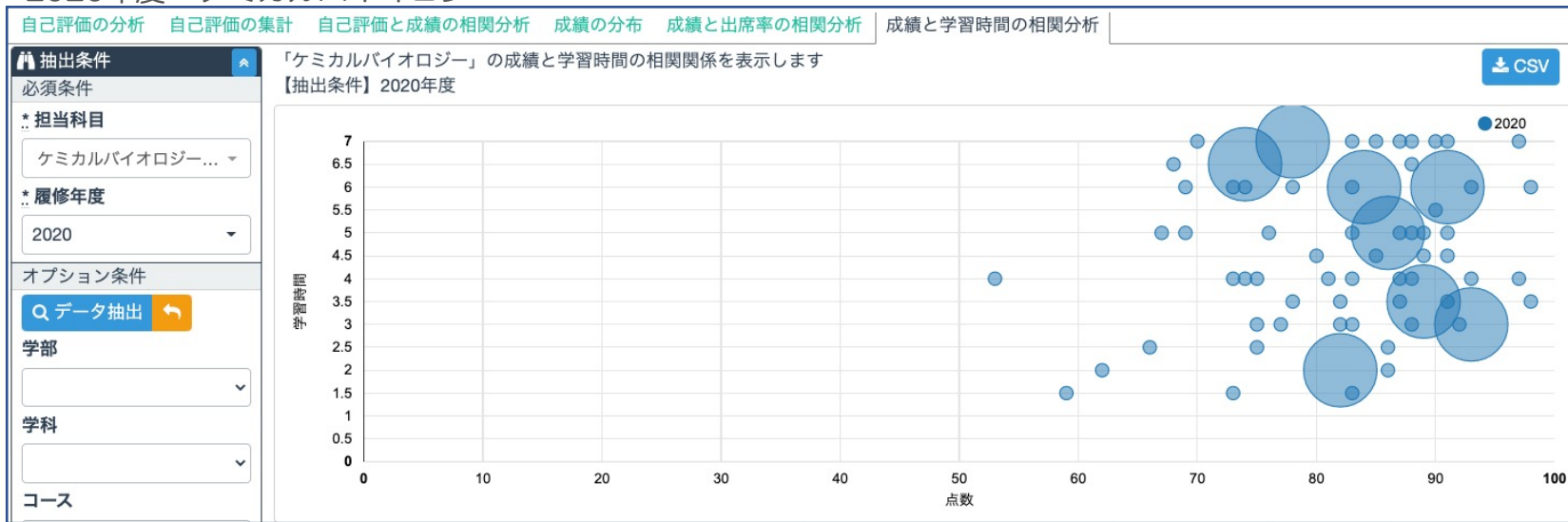
Check : コースポートフォリオ (教員用11)



2019年度 ケミカルバイオロジー



2020年度 ケミカルバイオロジー



2020年度 ケミカルバイオロジー

学生コメント	点数	学習 時間	出席率 (科目)	出席率 (全体)
毎週の講義が提出期限が1週間あるにもかかわらず一度だけ復習テストなどの期限を守らなかった。自己管理をしっかりしたいです。		4	0	81.8
生化学と併せて勉強したので範囲が重なっている部分は理解出来たと思う。		1.5	0	73.1
授業に加え、課題や小テスト等により授業内容について理解する事ができたと思う。		5	0	82.7
完成度が高い板書をつくることを意識して勉強したので、かなり知識が身についたし、理解も深いと思う。		7	0	76.9
課題が多くて、課題以外での勉強時間を取ることが難しかった。		4	0	83.8
タンパク質や、糖質についてしっかり学習することができた。		7	0	87.2
予習、授業、復習をすることで理解はできたが、知識を定着させることが十分でなかった		6	0	74.6
予習復習をしっかりすることができた。		3	0	84.4
オンライン授業であったため、時間に制限がなく、また、自分が受けたい時間帯に授業を受けることが出来たため、より深く理解できたと感じた。		3	0	84.9
予習や復習を通して理解が深まった。まだ、不十分なところがあるのでしっかり勉強したい。		2	0	88.4
予習復習に取り組み、ノートも取ることが出来た。		6	0	84.1
授業内容をまとめるのに多くの時間を要したが、理解を進めることができた		6	0	86.4
テスト等を受けていないため、身についているのがわからず不安である。		3.5	0	90.7
ノートを一生懸命取ることが出来た。		3.5	0	87
予習→ノート作成→復習→課題という流れが自分にぴったり合っていたため、授業の内容をよく理解することができたように思う。また、作成したノートは、化学実験の時には考察の参考にもなったし、何より自分自身で工夫してまとめたので、とてもわかりやすいお気に入りのものになった。今後の学習にもこの方法を取り入れていきたい。		7	0	90
予習・復習が管理されていたのでしっかり取り組むことができた。図を何も見なくてもすぐにかけるようにしたい。		3.5	0	87.9
他の授業より課題は多かったがその分身についた気がする。		2	0	78.1
ノートをたくさん書いたので、授業を概ね理解することができた。		3	0	91.3
ノートをとることで理解が深まったと思う		3	0	85.7
予習・受講(ノート)・復習の流れをしっかりと確立して勉強に望む事ができたので効率よく理解を深める事ができたと思います。		7	0	79.5
構造や機能の理解を深める事はできたが、暗記が今ひとつ不安なので繰り返し復習を行います。				
ノートをとる量が多かったが、そのおかげでノートを見返すだけでも授業内容を十分に復習できた。糖や脂質、タンパク質や核酸の構造や性質をしっかりと理解することが出来た。		4	0	85.2
予習復習はしっかりと行った。		7	0	89.4
板書付きで例があったためまとめやすかった		7	0	86.8
手書きノートや予習復習テストのおかげで理解が深まった。		6	0	91.9
予習、復習、ノートの課題があったので頭に入りやすかった。		6	0	83.7
ノートにまとめるのが大変だったが、復習時に役にたった。		5	0	77.5
予習に関して徹底したため授業が楽しかった。		3.5	0	84.1
毎回のノート提出のおかげでただ動画を見るだけでは理解が苦しい場面でも、理解の手助けとなった。また、毎回の復習テストもあるためその都度復習ができたのもよかった。		6	0	88.3

学生コメント	点数	学習 時間	出席率 (科目)	出席率 (全体)
予習テスト、復習テスト等を通して理解していないところを把握することが出来て、その部分について復習できた。		5	0	86.1
予習復習は十全にしたが他の授業の兼ね合いから期末試験の学習が不十分であったように感じた。		3	0	85.6
授業ごとの予習復習を徹底したので内容理解に役立てた。		7	0	87.6
ノートをしっかりとったので理解が深まった。		2	0	81.4
予習テスト、復習テストできちんとした予習復習のサイクルができた。		4	0	89.2
動画を止めてノートをとることができ、自分のペースで勉強できたと感じる。情報量が多いためまだ完全に理解するところまでは至ってないので、これからテストに向けてしっかり復習していきたいです。		6	0	82.4
予習をするときにノートをあらかじめ書いていたので理解の助けにはなった。それぞれの回では理解できていると想ったが、最初の方のことは忘れて行っているので復習しなければならないと感じる。		3.5	0	94.2
毎授業しっかりノートを取り、予習復習テストをうけることができた。		6	0	84.8
教科書と講義動画で授業はおおむね理解することができた		4.5	0	84.6
できたと思います。		1.5	0	84.4
予習テスト、復習テスト、課題プリントにしっかりと取り組み、板書もオリジナルを交えながら取ることができた。		6	0	89.3
しかし、今までの定期試験のような形態で問題に取り組んだわけではないので理解度に不安が残ると感じる。				
ノートをとることを重要視していた節があるため、定着しているのかかなり不安である。		6.5	0	82.8
予習・復習をしっかりとすることができたので、授業の内容を理解しやすかった。		4	0	90.4
予習に時間をかけすぎてしまうため、復習が十分ではなかった		4.5	0	91.7
おおむね理解できました		2.5	0	84.1
特に復習に力を入れて取り組むことができた。		5	0	83.1
予習復習をしっかりしたので十分に理解できたと思う。		7	0	87
予習、復習をしっかりとしたつもりだが、課題の時間の方が多く、動画を聞きながら板書を作れなかった。筆記スピードをどうにかしたい		7	0	87.4
毎回理解できるようにした。		3	0	82.6
授業を通して、生命における基礎知識や基本構造等を学ぶことができた。		5	0	84.3
生体高分子について、概ね理解できた。		7	0	91.9
予習・復習テストにより自分の理解度を確認して学習できた。概ね理解できたのではないと思う。		6.5	0	93.7
予習復習はしたものの一度に覚えることが多すぎてわからなくなることが多くあった。		5	0	90.1
よく学べた		4	0	70.8
ノートをしっかりとった。		3	0	82.5
ノートをしっかりとった。		1.5	0	64.9
予習テストでしっかり読み込んだため授業内容が入りやすかった。		3.5	0	87.7
先生が教科書にそって授業をして下さったので勉強はしやすかった。暗記は得意で、生物は好きなので理解度としては70%くらいだと感じる。		3.5	0	83.1
核酸のところの理解が不十分なので復習しておきたい。		4.5	0	78.3
教科書と講義ビデオを見比べながら勉強をできたが、脂肪等の理解がまだ不十分である。		4	0	85
予習復習をがんばった		6	0	85
授業についてのノートをしっかりと取った。		4	0	83.8
概ね理解することができていると思う		5	0	85.8
復習を頑張って理解がおろそかにならないようにした		6.5	0	86.3
復習に重点を置いたので、基本的な知識がしっかり身についた		5.5	0	77.3
予習、授業、復習という一連の流れで学習出来ていたため、しっかり頭に知識が入っていった。		5	250	87.2

2. 学修自己評価システム による授業アンケート

令和 2年10月12日

工 学 研 究 院 長 殿
情 報 工 学 研 究 院 長 殿
生 命 体 工 学 研 究 科 長 殿
教 養 教 育 院 長 殿

副学長（教育・学生・情報担当）
梶 原 誠 司

授業評価アンケートの回答について（依頼）

第2クォーター以降の授業評価アンケートについて、8月19日付で学生の回答について、各部署での積極的な対応をお願いいたしました。しかしながら、第2クォーター及び前期セメスター科目の授業アンケートの提出率は、一部改善が見られるものの、依然として、低調な状態が続いています。

令和3年度に受審します認証評価においても、昨今の社会的要請からも、教育の内部質保証のPDCAサイクルにおいて、学生からの意見を聴取し教育改善に反映することが重要視されています。

つきましては、今年度第3クォーター以降の、学生の授業アンケートの回答の向上を図るよう、ご対応をお願いいたします。なお、回答を促す方法を以下に例示しますので、参考として下さい。

【学生にアンケート回答を促す方法例】

- ・各授業の最終回で、学生が授業アンケートに回答する時間を設ける。
- ・各学科等で、複数科目の授業アンケートに回答する機会を設ける。
- ・各授業の moodle コースに授業アンケートの URL を貼り付け、回答を指示する（参考資料参照）

令和 2年10月12日

工 学 部 長 殿
情 報 工 学 部 長 殿
教 養 教 育 院 長 殿

学 習 教 育 セ ン タ ー 長
坂 本 寛

学修自己評価システムによる授業評価アンケートについて（依頼）

平素より学習教育センターの活動にご理解ご協力いただき深謝申し上げます。

学習教育センターでは、教学関連の情報システムの整備をととして、教育の内部質保証の仕組みの構築を進めております。昨年度から、授業評価アンケートを学修自己評価システムから回答できるよう、システムの改修に着手し、この度、機能を追加いたしました。

つきましては、現在、教務情報システムから学生が回答している学部授業科目の授業評価アンケートについて、第3クォーターから学修自己評価システムから回答する運用に変更いただくよう、お願いいたします。

なお、学生への入力指導を円滑に行っていただくため、学生説明用 Moodle コースを準備しましたので、ご活用下さい。

【授業科目の達成度評価と授業評価アンケートに関する学生説明用 URL】
<https://ict-i.el.kyutech.ac.jp/course/view.php?id=3071>

令和 2年10月 2 1 日
第12回情報工学部教務委員会 説明資料

議事録より抜粋
報告連絡事項

（2）授業評価アンケートの回答について…… 資料10
坂本学習教育センター長より、資料10 に基づき報告があった。

2020 年 9 月 28 日

学修自己評価システムの利活用のお祝い

学習教育センター長 坂本 寛

平素より学習教育センターの活動にご理解ご協力いただき深謝申し上げます。さて、新型コロナウイルスの影響により、遠隔授業を主体とする教育が現在行われておりますが、学習教育センターでは、シラバスシステムや学修自己評価システム、コースポートフォリシステムなどの教学関連の情報システムの整備をとおして、教育の内部質保証の仕組みの構築を進めてまいりました。つきましては、本学における内部質保証の仕組みにご理解いただき、これら教学関連情報システムの利活用を推進していただきたく、ご協力をお願いいたします。

- お祝い -

1. 学修自己評価システムの学生指導および学生面談での活用については、教務委員会をとおして「学修自己評価システムによる目標の設定と振り返り」のお願いをしてまいりました。学生指導での学修自己評価システムの利用を引き続きお願いいたします。学生説明用 moodle コースを開設しております。ご担当する授業の moodle コースに下記 URL を貼り付け学生に指示いただければと存じます。

コース URL : <https://ict-i.el.kyutech.ac.jp/course/view.php?id=3074>

遠隔授業が主体であることから、対面が可能な状況に比べ、学生指導が難しい面があるかと存じます。昨年度の同じ時期と比べ利用度が低い状況です。学生面談等をおとして学修自己評価システムの利活用の指導をお願いいたします。

2. **学修自己評価システムに授業評価アンケート機能を追加しました。学修自己評価システムに一旦入れば、学生は、授業の達成目標の達成評価と、授業評価アンケートの入力を行うことができます。授業科目の達成度評価と授業評価アンケートの入力指導のご協力を、授業科目ご担当の先生をお願いいたします。** 達成度評価と授業アンケートに関する学生説明用 moodle コースを解説しております。授業評価アンケートの入力を促す際に下記 URL を学生に指示いただければと存じます。

コース URL : <https://ict-i.el.kyutech.ac.jp/course/view.php?id=3071>

3. 学生の達成度評価の結果や成績分布などはコースポートフォリオで見ることができます。利用してみてお気づきの点などあればお知らせください。

注意)

- ・学修自己評価システムは学内からしかアクセスできません。学外からのアクセスには学内ネットワークへのVPN 接続が必要です。
- ・大学ネットワークへの VPN 接続のリクエストが集中すると、VPN 接続できない事例が発生しております。
- ・重要業績評価指標 (KPI) のひとつとして、本学では「学修自己評価システムの利用率 80%以上」を定めています。KPI 達成にご協力をお願いいたします。

+ 11. 月 日 () 限：核酸 (1)

編集

- §4. 核酸 nucleic acid
- 4.1. ヌクレオチドの構造 nucleotide
- 4.2. DNAとRNAの一次構造
- 4.3. DNAの立体構造
- 4.4. DNAの複製 replication
- 4.5. RNAの立体構造
- 4.6. RNAの機能による分類
- 4.7. 転写 transcription とプロセッシング processing
- 4.8. 翻訳 translation
- 4.9. DNAとゲノム genome

+ 11 予習テスト () () 24:00 まで

編集

このテストは出席替わりです。期限内に解答しないと欠席とみなします。

+ 11 核酸 (1) 解説ビデオ その 1

編集

利用制限 次の条件に合致しない限り利用できません: 活動「11 予習テスト () () 24:00 まで」が完了マークされた場合

+ 11 核酸 (1) 解説ビデオ その 2

編集

利用制限 次の条件に合致しない限り利用できません: 活動「11 予習テスト () () 24:00 まで」が完了マークされた場合

+ 4. 核酸 (1) 板書

編集

+ 11 核酸 (1) 資料プリント

編集

+ 11 自筆ノートの提出 () () 24:00 まで

編集

ファイル名: 11 ノート + 学生番号 + 氏名 + 提出年月日 .pdf (例: 11 ノート 192C3*** 工大太郎 20200819)

+ 11 復習テスト () () 24:00 まで

編集

+ 学修到達目標の達成度 & 授業アンケート () () 24:00 まで

編集

学修自己評価システムに入って、「ケミカルバイオロジー」の学修到達目標の達成度 (オレンジ色の枠内) と授業アンケート (ピンク色の枠内) を期限内に入力して下さい。皆さんからの回答は授業改善に役立ちます。なお、授業アンケート (ピンク色の枠内) は匿名性が確保されます。

+ 活動またはリソースを追加する

学修自己評価システム ホーム画面

学修自己評価システムのホーム画面から自己評価および授業評価アンケートを実施

Kyutech
Self-Assessment portfolio

所属: 情報工学部 情報工1類 1クラス 学年: 1
学籍番号: stu001 氏名: 吉野 千栄 (仮名)

ホーム 1.履修状況の確認 2.達成度の確認 3.学修意識の診断 4.目標と振り返り 5.TOEIC 教員からのコメント

今学期の目標

今学期の目標
例: 必修科目の1/3の成績が優以上となるように学習に力を入れる
TOEICスコアを50点UPさせる
卒研テーマは11月までに実証実験を完了させる

1年目標欄

教員からのコメント
西岡 恒太郎 (仮名)
宮崎様、学修自己評価ポートフォリオを利用して下さい。

指導教員名: 小倉 真依 (仮名)、西岡 恒太郎 (仮名) 西岡日: ...

GPA・TOEIC・出席状況

通算: 再履修した科目がある場合に最後に履修した成績のみを対象として計算
通計: 不可成績を含めたすべての履修科目を対象として計算

	1年回	2年回	3年回	4年回
	前期	後期	前期	後期
成績平均	79	78		
修得単位数	19	20		
学期GPA	2.55	1.33		
学年GPA	2.39			
通算GPA			2.39	
通計GPA			2.39	
TOEIC L&R				
出席率 (学期)	90.6	87.5		
出席率 (通算)			89.2	
出席 284 欠席 32 遅刻 3 早退 0 無効 1				

履修情報

成績区分: 年次: 学期: 履修時期:

科目名	授業アンケート	出席/欠席	年次	学期	担当教員	履修区分	成績	成績区分	単位数	曜日/時	履修情報
英語1.C	Q	14 / 2	1	前期	中山 崇美	必修選択	81	合格	1	水/2時	2018年度 前期
スポーツ実技	Q	0 / 0	1	前期	平木 崇二	必修選択	78	合格	1	金/3時	2018年度 前期
情報工学概論	Q	14 / 0	1	前期	佐藤 好久	必修	90	合格	1	水/3時	2018年度 前期
プログラミング	Q	16 / 0	1	前期	新見 達也	必修	72	合格	3	月/3時, 月/4時	2018年度 前期
フランス語1	Q	14 / 2	1	前期	野生 恵美	必修選択	82	合格	1	木/4時	2018年度 前期
英語2.C	Q	12 / 3	1	前期	クリューサー フィオナ	必修選択	85	合格	1	金/2時	2018年度 前期
線形代数1	Q	16 / 1	1	1Q	佐藤 好久	必修	87	合格	2	火/3時, 木/3時	2018年度 前期
離散数学1	Q	15 / 0	1	1Q	石坂 裕毅	必修	93	合格	2	火/4時, 金/4時	2018年度 前期
力学1	Q	16 / 0	1	2Q	小林 順	必修	78	合格	2	火/4時, 木/3時	2018年度 前期
船舶1・陸揚艇	Q	21 / 2	1	2Q	坂本 比呂志	必修	61	合格	2	月/1時, 月/2時, 木/1時	2018年度 前期
計算機システム1	Q	14 / 3	1	2Q	江本 健斗	必修	63	合格	2	火/3時, 金/4時	2018年度 前期
情報セキュリティ概論	Q	4 / 2	1	2Q	光宗 健一	必修	79	合格	1	水/1時	2018年度 前期
情報工学基礎実験	Q	0 / 0	1	後期	福留 康祐	必修	--	履修中	1	火/3時, 木/4時	2018年度 前期
英語3.C	Q	9 / 1	1	後期	中山 崇美	必修選択	--	履修中	1	水/2時	2018年度 後期
英語4.C	Q	11 / 0	1	後期	マーカス ヨング	必修選択	--	履修中	1	金/2時	2018年度 後期
中国語1	Q	11 / 0	1	後期	龍 一夫	必修選択	--	履修中	1	木/4時	2018年度 後期
データ構造とアルゴリズム	Q	11 / 7	1	後期	荒木 健輔	必修	--	履修中	2	月/3時, 月/4時	2018年度 後期
オートマトンと言語理論	Q	15 / 1	1	3Q	石坂 裕毅	必修	--	履修中	2	水/3時, 金/3時	2018年度 後期
熱伝導2	Q	7 / 0	1	3Q	近藤 直也	必修選択	95	合格	1	金/4時	2018年度 後期
線形代数2・微分積分	Q	20 / 3	1	3Q	佐藤 好久	必修	43	不合格	2	月/1時, 月/2時, 木/1時	2018年度 後期

※授業評価アンケートの画面は
学生には、表示されるが
教員には、表示されない。
(教員は、自己評価の画面のみ参照可能)

※教員には、この列は表示されない

学修自己評価システム ホーム画面 (履修状況)

履修状況 に 「授業アンケート」 の欄を追加

履修情報												
成績区分:		年次:		学期:		履修時期:						
科目名	授業アンケート	出席/欠席	年次	学期	担当教員	履修区分	成績	成績区分	単位数	曜日/時限	履修情報	
英語ⅠC		14 / 2	1	前期	中山 奈美	必修選択	81	合格	1	水/2限	2018年度 前期	
プログラミング		16 / 0	1	前期	新見 道治	必修	72	合格	3	月/3限, 月/4限	2018年度 前期	
フランス語Ⅰ		14 / 2	1	前期	麻生 恵美	必修選択	82	合格	1	木/4限	2018年度 前期	
英語ⅡC		12 / 3										
線形代数Ⅰ		16 / 1										
離散数学Ⅰ		15 / 0										
力学Ⅰ		16 / 0										
解析Ⅰ・同演習		21 / 2										
計算機システムⅠ		14 / 3										
情報セキュリティ概論		4 / 2										
情報工学基礎実験	○	0 / 0										
英語ⅤC	○	9 / 1										
英語ⅥC	○	11 / 0										
中国語Ⅰ	○	11 / 0										
データ構造とアルゴリズム	○	11 / 7	1	後期	荒木 俊輔	必修	--	履修中	2	月/3限, 月/4限	2018年度 後期	
オートマトンと言語理論	○	15 / 1	1	3Q	石坂 裕毅	必修	--	履修中	2	水/3限, 金/3限	2018年度 後期	
地域研究Ⅱ	○	7 / 0	1	3Q	近藤 直也	必修選択	95	合格	1	金/4限	2018年度 後期	
線形代数Ⅱ・同演習	○	20 / 3	1	3Q	佐藤 好久	必修	43	不合格	2	月/1限, 月/2限, 木/1限	2018年度 後期	
電磁気学Ⅰ	○	14 / 2	1	3Q	木内 勝	必修選択	--	履修中	2	月/5限, 木/3限	2018年度 後期	
法学Ⅱ	○	4 / 0	1	4Q	佐藤 直樹	必修選択	--	履修中	1	金/4限	2018年度 後期	
線形代数Ⅱ・同演習	○	4 / 3	1	4Q	是澤 宏之	必修	--	履修中	2	火/1限, 金/1限	2018年度 後期	
計算機システムⅡ	○	7 / 0	1	4Q	八杉 昌宏	必修	--	履修中	2	月/5限, 木/3限	2018年度 後期	
解析Ⅱ	○	7 / 0	1	4Q	本田 あおい	必修	--	履修中	2	月/2限, 木/1限	2018年度 後期	
離散数学Ⅱ	○	6 / 0	1	4Q	齋藤 寿樹	必修	--	履修中	2	水/3限, 金/3限	2018年度 後期	

- ・「○」のついている科目が「授業評価アンケート」回答可能
- ・「○」のついていない科目は「授業評価アンケート」には回答できない。
- ・原則、一度「○」がつくと、ずっと「○」がついたままとなる。
- ・上述であるが、2018年度以前の科目については、授業アンケート期間が過ぎていたので、「○」がつかない。
(運用開始後は、常に「○」がついたままとなる)

自己評価および授業評価アンケート（マップに記載のある科目）

※自己評価の設問の後に授業評価アンケートが表示される。

従来の自己評価の解答欄

2020年度第3Qから
追加された
授業評価アンケート欄
（教員には非表示）

自己評価の入力

データ構造とアルゴリズム（1年後期 / 必修 / -点）

1. 授業時間も含め1週間あたりのおおよその学習時間を入力して下さい。

学習時間： 2.5時間

2. 自己評価した結果からこの授業の達成度について分析して下さい。（自由記述）
例：予習・復習をしっかりとしたので、授業を概ね理解することができたが、再帰呼び出しの関数の理解が十分ではないと思う。

テスト

3. 下記の達成目標のそれぞれについて達成度を自己採点して下さい。

No	評価項目	自己評価
1	リスト、スタック、キュー、二分木などの基本的なデータ構造とそれを操作するアルゴリズムを理解し利用できる。	★★★★☆ 3. どちらともいえない
2	抽象データ型の概念を理解し、(1)のデータ構造を利用した抽象データ型を作成できる。	★★★★★ 5. 十分達成できた
3	探索やソートを題材として、様々なアルゴリズムとその効率の違いを理解している。	★★★★☆ 3. どちらともいえない

授業アンケート

次のアンケートデータは大学の教育改善及び、各学部、学府、研究科の授業改善に使用します。

■ この授業について

この授業について下記の質問に回答してください。

1	授業の進度は適切だった。	★★★★☆	4. そう思う
2	使用したテキストや資料等は、授業の理解の助けとなった。	★★★★☆	2. そう思わない
3	授業内容に関して教え方に工夫がされていた。	★★★★☆	4. そう思う
4	授業内容に満足している。	★★★★☆	3. どちらともいえない

■ あなた自身について

あなた自身について下記の質問に回答してください。

5	授業内容を理解し、授業の到達目標（目的）を達成することができた。	★★★★☆	4. ある程度達成できた
6	この授業の1コマ（90分）に対する学習時間（授業時間除く）は次の程度だった。 1: 0 時間, 2: 1 時間未満, 3: 1~2 時間, 4: 2~3 時間, 5: 3 時間以上	★★★★☆	2. 1 時間未満
7	この授業の欠席回数は次のとおりだった。 1: 7 回以上, 2: 5~6 回, 3: 3~4 回, 4: 1~2 回, 5: 欠席しなかった	★★★★★	5. 欠席しなかった

閉じる

自己評価および授業評価アンケート（マップに記載のない科目）

✓ 自己評価の入力

ドイツ語Ⅰ（1年後期 / 必修選択 / -点）

1. 授業時間も含め1週間あたりのおおよその学習時間を入力して下さい。

学習時間:

2. 自己評価した結果からこの授業の達成度について分析して下さい。(自由記述)
例: 予習・復習をしっかりとしたので、授業を概ね理解することができたが、再帰呼び出しの関数の理解が十分ではないと思う。

3. 下記の達成目標のそれぞれについて達成度を自己採点して下さい。

No	評価項目	自己評価

カリキュラムマップに
記載のない科目は、
自己評価の入力はできない

授業アンケート

次のアンケートデータは大学の教育改善及び、各学部、学府、研究科の授業改善に使用します。

■ この授業について

この授業について下記の質問に回答してください。

1	授業の進度は適切だった。	★★★★★	1. 全くそう思わない
2	使用したテキストや資料等は、授業の理解の助けとなった。	★★★★★	2. そう思わない
3	授業内容に関して教え方に工夫がされていた。	★★★★★	3. どちらともいえない
4	授業内容に満足している。	★★★★★	4. そう思う

■ あなた自身について

あなた自身について下記の質問に回答してください。

5	授業内容を理解し、授業の到達目標（目的）を達成することができた。	★★★★★	5. 十分達成できた
6	この授業の1コマ（90分）に対する学習時間（授業時間除く）は次の程度だった。 1: 0時間, 2: 1時間未満, 3: 1～2時間, 4: 2～3時間, 5: 3時間以上	★★★★★	4. 2～3時間
7	この授業の欠席回数は次のとおりだった。		

今回追加する授業評価アンケート欄（教員には非表示）

※カリキュラムマップに設定のない科目（例えば、査定外の科目）は、
授業評価アンケートのみ表示

授業評価アンケート 設問内容（サンプル画面1）

授業アンケート

このアンケートデータは、大学の教育改善及び、各学部、学府、研究科の授業改善に使用します。

（教員には非表示）

■授業の内容について

この授業について下記の質問に回答してください。

1	シラバスの説明通りの内容であった。	★★★★★	5. 強く思う
2	授業の進度は適切だった。	★★★★★	5. 強く思う
3	使用したテキストや資料等は、授業の理解の助けとなった。	★★★★★	5. 強く思う
4	教員の説明は分かりやすかった。	★★★★★	5. 強く思う
5	授業内容に満足している。	★★★★★	5. 強く思う

■あなた自身について

あなた自身について下記の質問に回答してください。

6	授業内容を理解し、授業の到達目標（目的）を達成することができた。	★★★★☆	3. どちらともいえない
7	この授業のために、授業時間外に毎週平均的にどれくらいの学修時間（予習・復習・レポート等の課題・試験勉強などを含む）を持ちましたか？ 1: 1時間未満, 2: 1時間以上～2時間未満, 3: 2時間以上～3時間未満, 4: 3時間以上～4時間未満, 5: 4時間以上	★★★★★	5. 4時間以上

■受講環境について

受講環境について下記の質問に回答してください。

8	受講環境（遠隔授業の場合は、ネットワークを介した受講環境）は満足行くものだった。	★★★★★	5. 強く思う
---	--	-------	---------

9. 8 の回答の理由を具体的に書いてください。

Moodleの連絡確認や出欠確認、Zoom入室も問題なく行えました。

授業評価アンケート 設問内容（サンプル画面2）

（教員には非表示）

■受講環境について

受講環境について下記の質問に回答してください。

8 受講環境（遠隔授業の場合は、ネットワークを介した受講環境）は満足行くものだった。



5. 強くそう思う

9. 8 の回答の理由を具体的に書いてください。

Moodleの連絡確認や出欠確認、Zoom入室も問題なく行えました。

■自由記述

10. 授業を受けた感想を自由に記入してください。授業で良かったと思う点（内容、教員の講義の仕方等について）を具体的に書いてください（500文字以内）。

非同期の授業動画で、先生が図だけではなく模型を使って説明してくださったのがよかったです。1回目に動画を見たときに分からなくても、2回、3回目に見たときには理解できたので、たいへん満足した授業内容でした。

11. 授業で改善が必要と思う点（内容、教員の講義の仕方等について）を具体的に書いてください（500文字以内）。

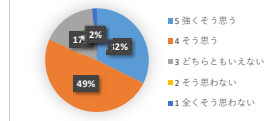
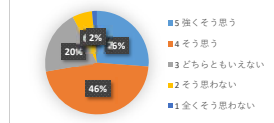
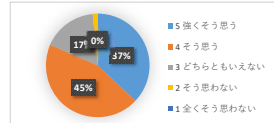
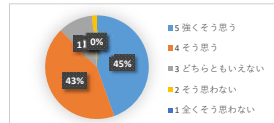
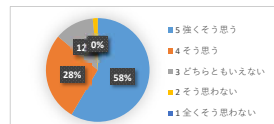
私の理解力の欠乏が問題かもしれませんが、Zoomでの同期授業は少し進度が速くて、追いつくのに苦戦しました。また、課題が個人的に難しかったです。証明のような定義等を引用して結論づける問いは特に苦戦しました。もう少し難易度を落としていただけると有難いです。

開講 年度	開講 学期	開講 区分	科目コード	科目名	クラス	職員番号	担当教員	履修者数
2020	後期	3 Q	11003008	化学 I	03	82564651	坂本 寛	72

授業アンケート

■授業の内容について

設問 1	シラバスの説明通りの内容であった。		
	全回答数(人)	65	
	5 強くそう思う	38	58.5%
	4 そう思う	18	27.7%
	3 どちらともいえない	8	12.3%
	2 そう思わない	1	1.5%
	1 全くそう思わない	0	0.0%
設問 2	授業の進度は適切だった。		
	全回答数(人)	65	
	5 強くそう思う	29	44.6%
	4 そう思う	28	43.1%
	3 どちらともいえない	7	10.8%
	2 そう思わない	1	1.5%
	1 全くそう思わない	0	0.0%
設問 3	使用したテキストや資料等は、授業の理解の助けとなった。		
	全回答数(人)	65	
	5 強くそう思う	24	36.9%
	4 そう思う	29	44.6%
	3 どちらともいえない	11	16.9%
	2 そう思わない	1	1.5%
	1 全くそう思わない	0	0.0%
設問 4	教員の説明は分かりやすかった。		
	全回答数(人)	65	
	5 強くそう思う	17	26.2%
	4 そう思う	30	46.2%
	3 どちらともいえない	13	20.0%
	2 そう思わない	4	6.2%
	1 全くそう思わない	1	1.5%
設問 5	授業内容に満足している。		
	全回答数(人)	65	
	5 強くそう思う	21	32.3%
	4 そう思う	32	49.2%
	3 どちらともいえない	11	16.9%
	2 そう思わない	0	0.0%
	1 全くそう思わない	1	1.5%



■あなた自身について

設問 6

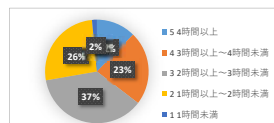
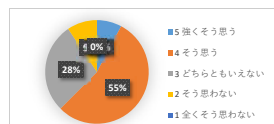
授業内容を理解し、授業の到達目標（目的）を達成することができた。

	全回答数(人)	64	
5	強くそう思う	5	7.8%
4	そう思う	35	54.7%
3	どちらともいえない	18	28.1%
2	そう思わない	6	9.4%
1	全くそう思わない	0	0.0%

設問 7

この授業のために、授業時間外に毎週平均的にどれくらいの学修時間（予習・復習・レポート等の課題、試験勉強などを含む）を持ちましたか？

	全回答数(人)	65	
5	4時間以上	8	12.3%
4	3時間以上～4時間未満	15	23.1%
3	2時間以上～3時間未満	24	36.9%
2	1時間以上～2時間未満	17	26.2%
1	1時間未満	1	1.5%

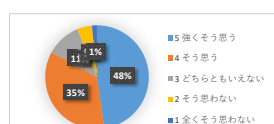


■受講環境について

設問 8

受講環境（遠隔授業の場合は、ネットワークを介した受講環境）は満足行くものだった。

	全回答数(人)	65	
5	強くそう思う	31	47.7%
4	そう思う	23	35.4%
3	どちらともいえない	7	10.8%
2	そう思わない	3	4.6%
1	全くそう思わない	1	1.5%



2020年度後期 3 Q

科目コード: 11003008 科目名: 化学 I クラス: 03 担当教員: 坂本 寛

履修者数: 72名

授業アンケート

■受講環境について

設問 9 8 の回答の理由を具体的に書いてください。（8 の回答 **は、8 が未回答）

設問 8 の回答	回答
5	特にない
5	板書を載せてもらっていたので、焦らずにノートに書き写すことができたため。
5	利用したことはないが、毎週質問できるように時間が設けられていたところと、課題の内容が授業内容をしっかり復習できるものだった。
5	特に問題はなかった。
5	何度も見直すことで、理解が深まったから。
5	要所を端的にわかりやすく説明されており、大事な部分を何度も繰り返し聞くことができたため。
5	問題なく受講できたから。
5	特に問題は無かった。
5	好きなペースで進められるから
5	zoomで質問できる時間があったから
5	わかりやすい資料や動画の掲載があり、また、提出期限にも余裕を設けて回線トラブルなどの対策も行っていたから。
5	動画を後から見返すことができるのはよかった。
5	何度も動画を見れたので良かった。
5	ネットの不具合がなかったため。
5	特に問題は起きなかった。
5	オンデマンド形式で授業動画が残ることで復習が容易で便利だった。
5	ネットワークの不具合もなかったため、受講には問題はありませんでした。
5	映像トラブルもなく、快適に受講できたと思う。
5	非同期型の授業であったのでネットワークの良いタイミングで任意で受けることができたから。
5	
5	Moodle上に授業のアーカイブや資料などが残っていたので復習がしやすかったため。
5	特に不便がなかったから。
5	問題なく学ぶことが出来たから。
5	動画をもう一度見直して理解度を上げることができたため。
5	講義動画も問題なく視聴でき、先生の説明もわかりやすかったから。
5	回線の問題がなかったため
5	家にWi-Fiがあるから
4	動画を視聴する形式の講義は受けやすかった。
4	期末試験のみZoom使用なのでトラブルの発生が不安に感じる
4	動画を見ながらの復習が可能だったため
4	特に問題なく受講することができたので。
4	特に不便に思うことがなかったため。
4	特に不自由を感じなかったから。
4	問題なく受講できました

授業アンケート

■自由記述

設問 10

授業を受けた感想を自由に記入してください。授業で良かったと思う点（内容、教員の講義の仕方等について）を具体的に書いてください（500文字以内）。

回答
問題なく授業に取り組めた。板書にメモを書き加えながら行う講義形式は説明されている内容を理解しやすかった。
分かりづらい概念的な部分も図解などでわかりやすく説明されていた。
板書を載せてくれたため、授業動画を理解することを中心に視聴することが出来ました。
板書のまとまりがとても良く分かりやすかった
板書のPDFや補助資料など授業を受ける上で役立てることのできる資料が多かったため、わかりやすかった。
板書に要点がまとめられていて見やすかった。
板書が分かりやすかったです。
板書が大変わかりやすかった。課題の量も適切で助かった。
また、フィードバックも返ってきたので嬉しかった。
内容などには特に不満はなく授業を受けることができた。
特に問題は見当たらなかった。教科書と板書の両方を使って説明してくれるので、よかったと思う。
特になし
特になし
丁寧に説明してくださったので、わかりやすい授業でした。
大学の化学は高校の化学と比べて圧倒的に難しかった。
体系的に学習することが出来、かなり充実した学習でした。
説明や板書がわかりやすかった
課題の難易度がちょうどよく理解の助けとなった
少し管理が面倒に思ったが、予習テストと課題の2つの形式で授業内容について取り組めるのがとても面白かった。授業後に取り組む課題に関しては量がちょうどよく、難しい問題もあって勉強になった。
徐々に教科書も動画も使用せずに板書を写すだけになっていた。そのため、授業内容が頭に入っていないかもしれない。試験勉強で巻き返したい。
出席確認の方法や授業様式など、すべてにおいてやりやすかった。
授業を受けた感想はそこまで難しくなかったということである。高校の初歩的な知識があれば理解できる内容であった。資料が理解の助けとなり助かった。
授業の資料が残っており、復習がしやすかった。また、課題の解説がしっかりしていて、その後の理解につながりやすかった。
授業の後に、自分で参考書などで調べることが大事だなと思いました。
自分で学習が進められるように資料が提供されていたのと、どうしてもわからなかったときは毎週質問をしに行ける枠がとられていて安心して学習を進めることができた。
予習テストも、導入にはほどよい量で抵抗を感じなかった。
今回の授業は動画形式で行われていたため動画が残ることになり、見直しに役立てることができたので良かったと思う。
高校よりも発展的な内容で難しいと感じた。
講義の板書をととても分かりやすく、講義の内容を理解しやすかったです。

2020年度後期 3 Q
科目コード：11003008 科目名：化学Ⅰ クラス：03 担当教員：坂本 寛
履修者数：72名

授業アンケート

■自由記述

設問 11

授業で改善が必要と思う点（内容、教員の講義の仕方等について）を具体的に書いてください（500文字以内）。

回答
予習テスト、課題、ノート提出と締切のあるものが多く、管理が少し面倒に感じた。講義用動画では、二つの資料を並べていたため見づらい時があった。
友人と対話しながら理解を深める場（ブレイクアウトルームなど）があった方が良いと思う。
問題のこたえをしっかりと解説してほしいと思います。
文字の定義が分かりにくかった
特に問題は見当たらなかった。
特に見つけることはできなかった。
特にはありません。
特になし。
特になし。
特になし
特になし
特になし
特にないと思いました。
特にないです。
特にないです。
特にないです。
特にないです。
特にない
特にない
特にありません。
特にありません。
特にありません。
動画中の先生の声が聞きとりにくい回があった。
先生の表情がわかるようにする
授業の動画は基本的に教科書をなぞる内容が多かったのであまり意欲的に見ようとは思わなかった、
自習するときに演習する問題が少なかったのもう少し多くてもいいと感じた。
最初の方の授業で小テストがあることを理解していなかったのもう少し分かりやすく授業の進め方と時間を教えていただきたかったです。
講義は分かりやすいとは言えませんでした。解説を聞いていても内容が頭に入ってこず、あとで必ず板書を見直していました。
改善が必要と感じる部分は特にない。
課題が難しかった。
音量をもう少し大きくしてくださいればもっと良かったと思われます。
もう少し声を大きくしてほしい。
ノート提出をやめて欲しい。

Moodleを使った学生へのアナウンス

Moodleに学修自己評価システムの説明リンクを追加

1100300103
参加者
バッジ
☒ コンピテンシー
評価
☐ 授業の概要
☐ 授業の進め方（重要）
☐ 第1回目の授業がはじまる前に
☐ 5月7日（木）4限（非同期型授業）
☐ 5月11日（月）3限（同期型授業）
☐ 5月14日（木）4限（非同期型授業）
☐ 5月18日（月）3限（同期型授業）

講義の動画（その1）

講義の動画（その2）

講義の動画（その3）

[授業内容に関する質問](#)

サンプル

6月22日～6月29日

授業アンケートの入力と学修自己評価

6月30日までの期間内に、LiveCampuにアクセスしてこの履修した授業の**授業評価アンケート**の入力と、線形代数Iの授業で学んだことについて、**学修自己評価**と振り返り行ってください。自己評価と振り返りには学修自己評価システムを使ってください。

授業アンケートならびに学修自己評価の仕方を説明するmoodleコースのリンク先を以下に載せておきます。リンク先の説明にしたがって**授業評価アンケート**と**学修自己評価**を行ってください。

[授業アンケート](#)

[学修自己評価と振り返り](#)

学修自己評価の取組は、この授業を履修して得られた「学修成果の振り返り」という**演習課題**として**成績に加味**しますので、少し時間をかけてしっかり行なってください。

[授業内容に関する質問](#)

<https://ict-i.el.kyutech.ac.jp/course/view.php?id=3071>

学修自己評価システム：学修成果の自己評価と授業評価アンケート



ダッシュボード / コース / 各種センター / 学修成果の振り返り

<https://ict-i.el.kyutech.ac.jp/course/view.php?id=3071>

学修成果とは

あなたの進捗

九州工業大学で学ぶことによってどのような能力や素養が身に付くのか知っていますか。これは「学習・教育到達目標」と呼ぶ指針として明文化されています。皆さんが所属する、あるいは配属を希望する学科・コースは、下記URLの冊子に書かれている学習・教育到達目標が示す能力や素養を皆さんに身に付けてもらうように、教育プログラム（カリキュラム）を定めています。

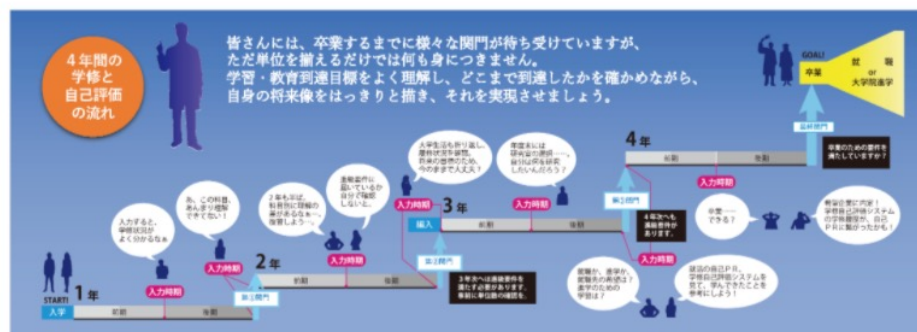
工学部の学習・教育到達目標（資料のp12以降）

<https://www.tobata.kyutech.ac.jp/wp-content/uploads/2019/09/Rishunoshiori.pdf>

情報工学部の学習・教育到達目標

<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/kit/wp-content/uploads/2020/04/JABEE-2020.pdf>

学修成果とは、学習・教育到達目標に書かれた能力や素養をどの程度身に付けられたかを示す指標です。大学で学ぶということは、授業科目を履修し必要な単位をただ揃えるだけに終始するのではなく、学習・教育到達目標に書かれた能力や素養がどの程度身に付いたかを点検し振り返りながら学修することが必要です。学修自己評価システムは、その「学修成果の振り返り」を行う皆さんを助けてくれるシステムです。積極的に活用しましょう。



学修成果の自己評価と授業評価アンケートをやってみよう

お知らせ

学生から秘伝



◇学修成果の点検と振り返りの方法

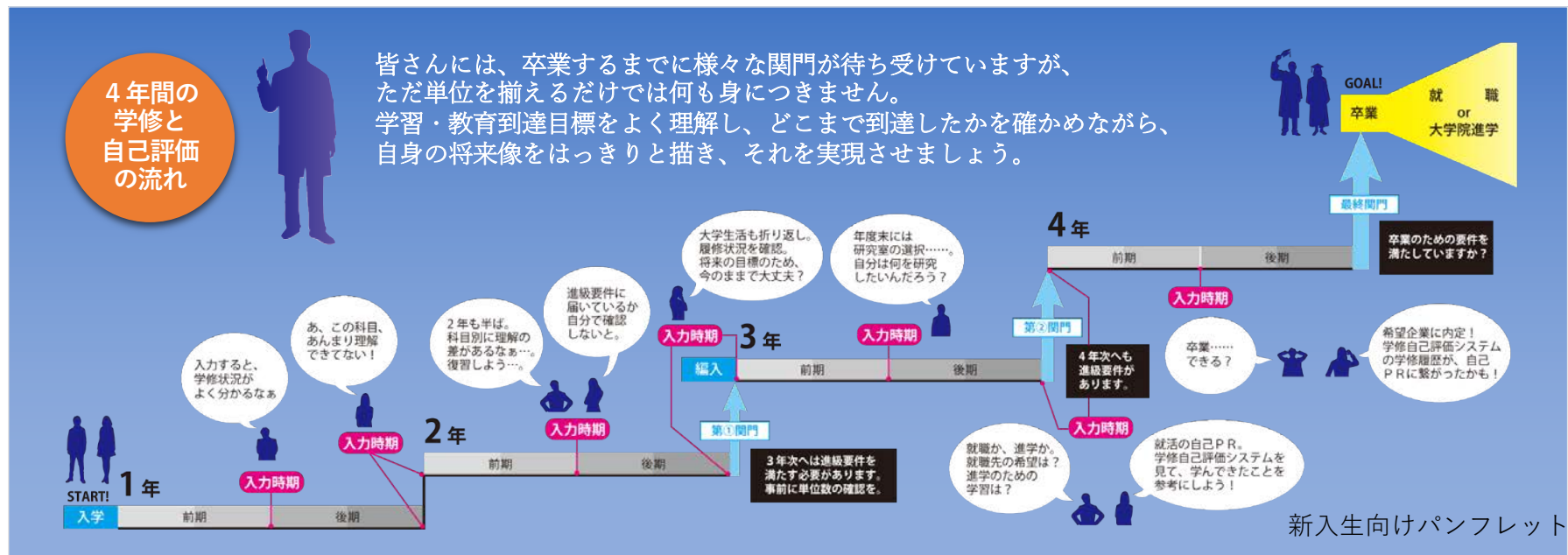
学習・教育到達目標は、上記URLの資料にあるように、いくつかの項目に分けて明文化されています。そして、それぞれの項目には、その学修・教育到達目標を達成するための授業科目が対応付けてあります。学習・教育到達目標の達成度合いは、「履修した授業科目の成績」と、「授業科目ごとに設定してある達成目標」の達成度を、自己評価して計ります。

学修成果の振り返りは次の手順で行います。

学修自己評価システム
利用率向上に向けての
お願い

学修自己評価システム利用促進の取り組み

●学生への周知の徹底（入学オリエンテーションでの説明）



- 学修自己評価システム連絡会（両学部教務委員長との話し合い）
- 利用状況のアンケートの実施（各学科教務委員）
- 工学部での普及活動（使用状況アンケート調査）
- 工学部での学生面談利用
- 「ホーム画面」の設置（情報の集約）

Kyutech Self-Assessment portfolio

所属: 工学部 電気電子工学科 電子工学コース 学年: 3 学期: 1
登録番号: 氏名:

スタートページ 1.履修状況の確認 2.進級要件の確認 3.卒業要件の確認 4.進路の選択 5.学生へのコメント

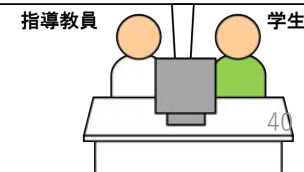
「学修自己評価」は、単に成績を確認するだけでなく、知識・技能の向上に貢献し、自己成長を促すためのツールです。この学修自己評価システムでは、履修した科目の進捗率や自己評価率を、卒業要件と照らし合わせて、卒業要件を満たしているかどうかを確認することができます。卒業要件を満たしているかどうかを確認し、卒業要件を満たしていない科目は、再履修を検討してください。

自己評価・自己チェックの入力状況

入力状況	入力済み	入力不足	入力中	入力済み	入力不足	入力中
1.履修状況の確認	OK	OK	OK	OK	OK	OK
2.進級要件の確認	OK	OK	OK	OK	OK	OK
3.卒業要件の確認	OK	OK	OK	OK	OK	OK
4.進路の選択	OK	OK	OK	OK	OK	OK

GPA

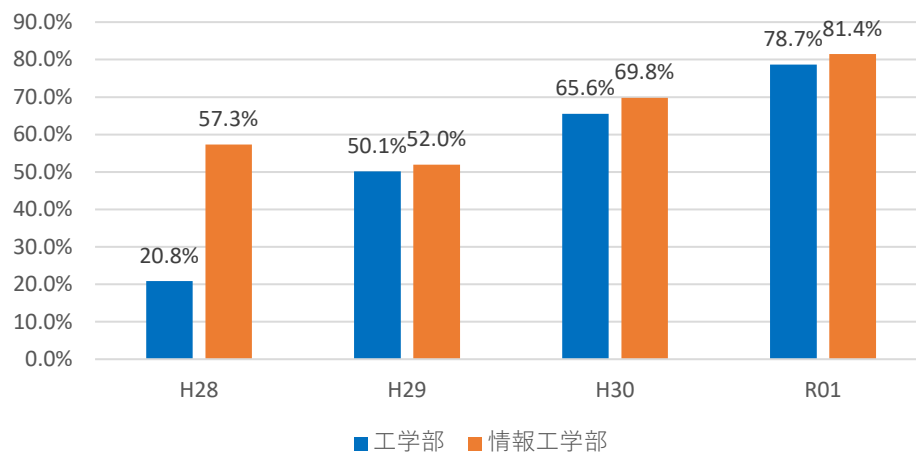
	1年目	2年目	3年目	4年目
成績平均	79	78	73	66
履修単位数	20	45	65	78
卒業GPA	2.4	2.36	2.04	1.28
卒業GPA	2.38	1.71		
通過GPA			2.06	



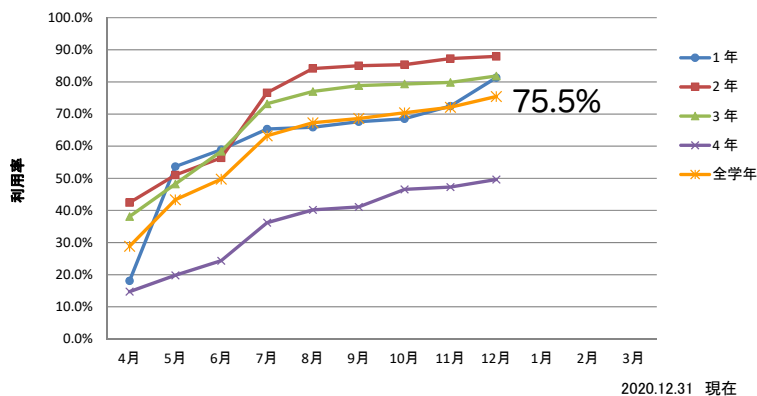
【中期計画5】

グローバル・コンピテンシー等の学修成果の可視化や、授業時間外の学習時間情報の収集、成績評価と自己評価の可視化を行い、学生による学修の振り返りを促す教育ツールとして、第2期に整備した学修自己評価システムの利用者の割合を**80%以上**とする。

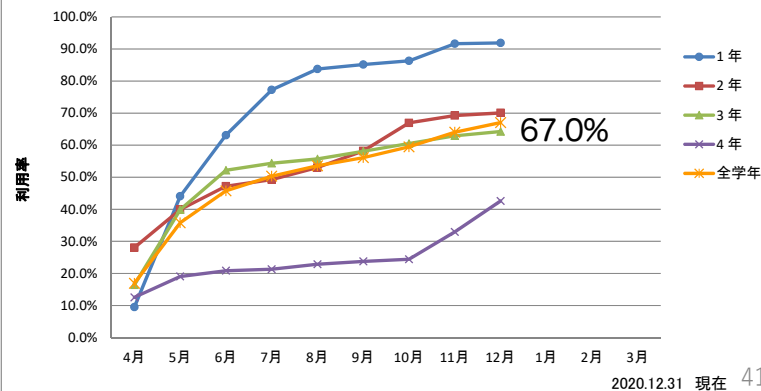
学修自己評価システム利用者推移（学部別）



R02 自己評価システム 累計利用率推移(工学部)



R02 自己評価システム 累計利用率推移(情報工)



Q & A (システム全般)

Q: 自宅から各システムにアクセスするにはどうしたらよいか.

A: 大学のVPNに接続後, アクセスして下さい.

Q: 学修自己評価システムとコースポートフォリオの違いは?

A: 学修自己評価システムは, 学生指導を主眼に置いている. コースポートフォリオは, 学修自己評価システムの情報を集計して, 科目担当教員に提示するシステムである.

Q: 学修自己評価システムとコースポートフォリオのデータ連携のタイミングは?

A: 夜間バッチ連携でデータ連携されている. バッチのタイミングによっては, 1~2日遅れて, 情報が反映される場合もある.

Q: シラバスシステムと学修自己評価システムのデータ連携のタイミングは?

A: 現在は, バッチ連携はされていない. 年度終わりのある時点で, 次年度分を業者が手動で設定している.

Q & A (学修自己評価システム)

Q: 教員が学修自己評価システムにログインした時、過去の指導学生まで表示され、現在の指導学生が誰であるか分かりにくい。

A: 今後の改修を検討している。検索方法としては、学年等で検索し、表示を絞る。

Q: 学生向けに説明用の動画がMoodleにあるとよい。

A: 以下に準備しています。

- ・学修自己評価システム: 目標設定と振り返り(初心者向け)

<https://ict-i.el.kyutech.ac.jp/course/view.php?id=3059>

- ・学修自己評価システム: 学修成果の自己評価と授業評価アンケート

<https://ict-i.el.kyutech.ac.jp/course/view.php?id=3071>

Q: 学生が自己評価を入力する画面と教員が入力状況を参照する画面の違いは？

A: 教員は指導学生が入力した内容をほぼ参照することができる。ただし、授業評価アンケートに関する内容については、参照できない。

(学生の画面では、科目の達成目標に続いて、授業評価アンケートが表示される。)

Q: 学生がどれだけ学修自己評価システムに入力(回答)するかが問題となる。期末テストに加味するというと、どの程度回答率があがるのか。

A: 遠隔授業時に強く指導すると、90%以上の回答率が得られた。コメント入力を課題の一つとして指導すると、97%が回答した。

Q & A (学修自己評価システム)

Q: 学生指導の面を考えた場合、コロナ禍であり、学修自己評価システムに
入力してくれる学生は問題はないが、そうでない学生への対応はどうすべきか.

A: 情工知的システム工学科では、学科会議で該当学生の情報を共有するように
している。ただし、その具体的な対策となると難しい面もある。

Q: 学生指導への利用を考えた場合、コロナ禍であり、学修自己評価システムに
入力してくれる学生は問題はないが、そうでない学生への対応はどうすべきか.

A: 情工知的システム工学科では、学科会議で該当学生の情報を共有するように
している。ただし、その具体的な対策となると難しい面もある。

Q: 授業評価アンケートのスマホ対応はどうなっているのか.

A: スマホの対応は行っていない。BYODがあるので、PCで入力してほしい。
なお、自己評価については、これまで通り、スマホで入力可能。

Q: 現在、情工教務(職員)が行っているアンケートの回答率の集計はどうなるのか.

A: 現状、集計するシステムは実装されていない。

業者にCSV出力を依頼し、それを元に別途、集計作業を行う必要がある。

Q & A (コースポートフォリオ)

Q: 学生が自己評価をしていなくても画面表示はされるのか.

A: 学生が学修自己評価システムに入力をしていなくても, 成績, 出席率の情報については, コースポートフォリオ上で確認できる.

Q: コースポートフォリオに科目が表示さない.

A: 連携先である学修自己評価システムのカリキュラムマップに設定のない科目については, コースポートフォリオに表示されません.

Q: コースポートフォリオの科目の達成目標が, シラバスに記載されている内容と異なっている.

A: 現在のシラバスシステム, 学修自己評価システム, コースポートフォリオのデータベースの関係上, また, 現業者との運用上の齟齬により, 学生の入学時のシラバスの科目の達成目標が設定されている, あるいは, 複数クラスについては, 数字が若いクラスの科目の達成目標が設定されているケースがある. 本件について, 現在, リプレイスを検討中である.

Q: コロナ禍のため, 出席の情報が何も入っていないが, 何か方法はないか.

A: 出席率は, LiveCampusからの情報(カードリーダーによる情報)がデータ連携され, コースポートフォリオに表示される. 現状では, 対応は難しい.
(学修自己評価システムと同様のQ & A)